



第26回フォーラム

「医療の改善活動」全国大会 in北九州 医療DXと共に歩む改善活動

プログラム・抄録集

会 期：2025年11月14日（金）・15日（土）

主 催：一般社団法人 医療のTQM推進協議会

大会長：内山 明彦

独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 院長

会 場：北九州国際会議場

建設LOVE
奥村くみ

建設が、
好きだ。

奥村組 ウェブサイトは
こちら



奥村組
OKUMURA CORPORATION

目 次

第26回フォーラム「医療の改善活動」

全国大会in北九州	1
-----------	---

ご案内	2
-----	---

第26回フォーラム「医療の改善活動」

全国大会in北九州 プログラム	4
-----------------	---

審査基準	8
------	---

特別講演	12
------	----

教育セミナー 入門編・管理者編	16
-----------------	----

シンポジウム	20
--------	----

教育講演	26
------	----

改善事例発表一覧	30
----------	----

※セッション目次	A - 37, B - 39, C - 41, D - 43, E - 45, F - 47, G - 49
	H - 51, I - 53, J - 55, K - 56, L - 58, M - 60, N - 62
	O - 64, P - 66, Q - 68, R - 70, S - 72, T - 74

ランチョンセミナー	76
-----------	----

第27回フォーラム「医療の改善活動」

全国大会in島根	80
----------	----

一般社団法人医療のTQM推進協議会

入会のご案内	81
--------	----

第26回フォーラム後援・協賛一覧	85
------------------	----

協賛者名一覧	86
--------	----

第26回フォーラム大会事務局

地域医療機能推進機構 九州病院内

〒806-8501

福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1

第26回フォーラム運営事務局

株式会社インターグループ 名古屋支社

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅2-38-2
オーキッドビル8F

第26回フォーラム「医療の改善活動」 全国大会 in 北九州 『医療DXと共に歩む改善活動』



第26回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in北九州

大会長 内山 明彦

(独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 院長)

第26回フォーラム「医療の改善活動」全国大会を福岡県北九州市で開催させていただきましたことになりました。

1999年の第1回開催から現在まで、医療のTQM推進協議会を中心とするメンバーの方々が、改善活動を推進し築き上げてこられた本大会の重みを受け止めながら、出来るだけ実りある大会となるよう、準備を進めて参りました。

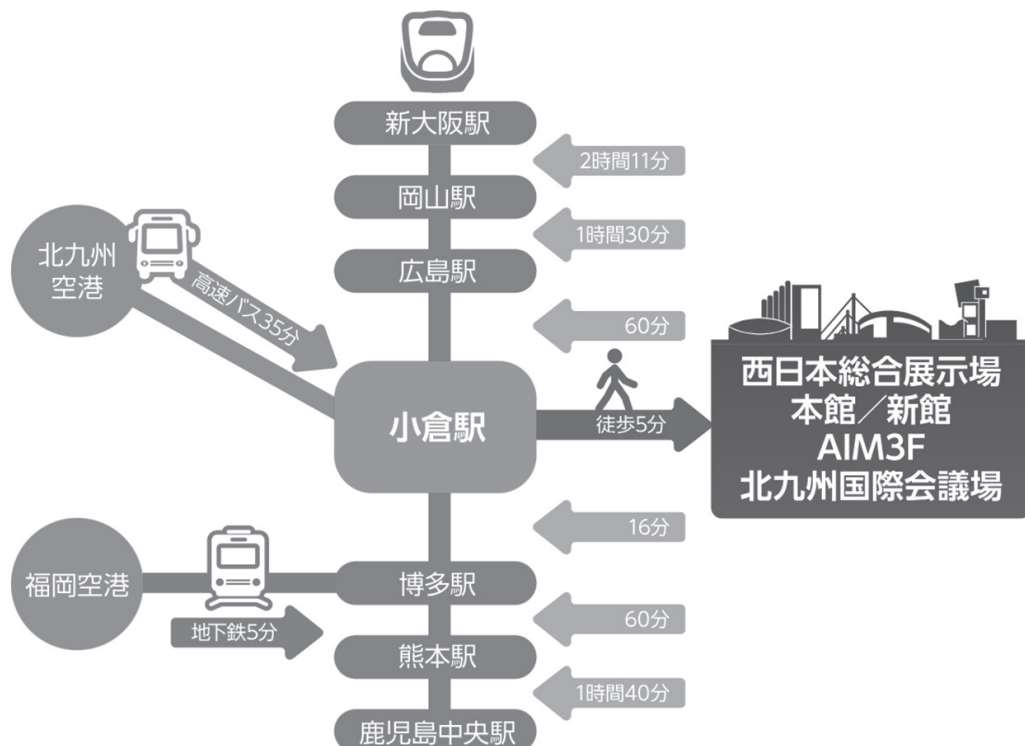
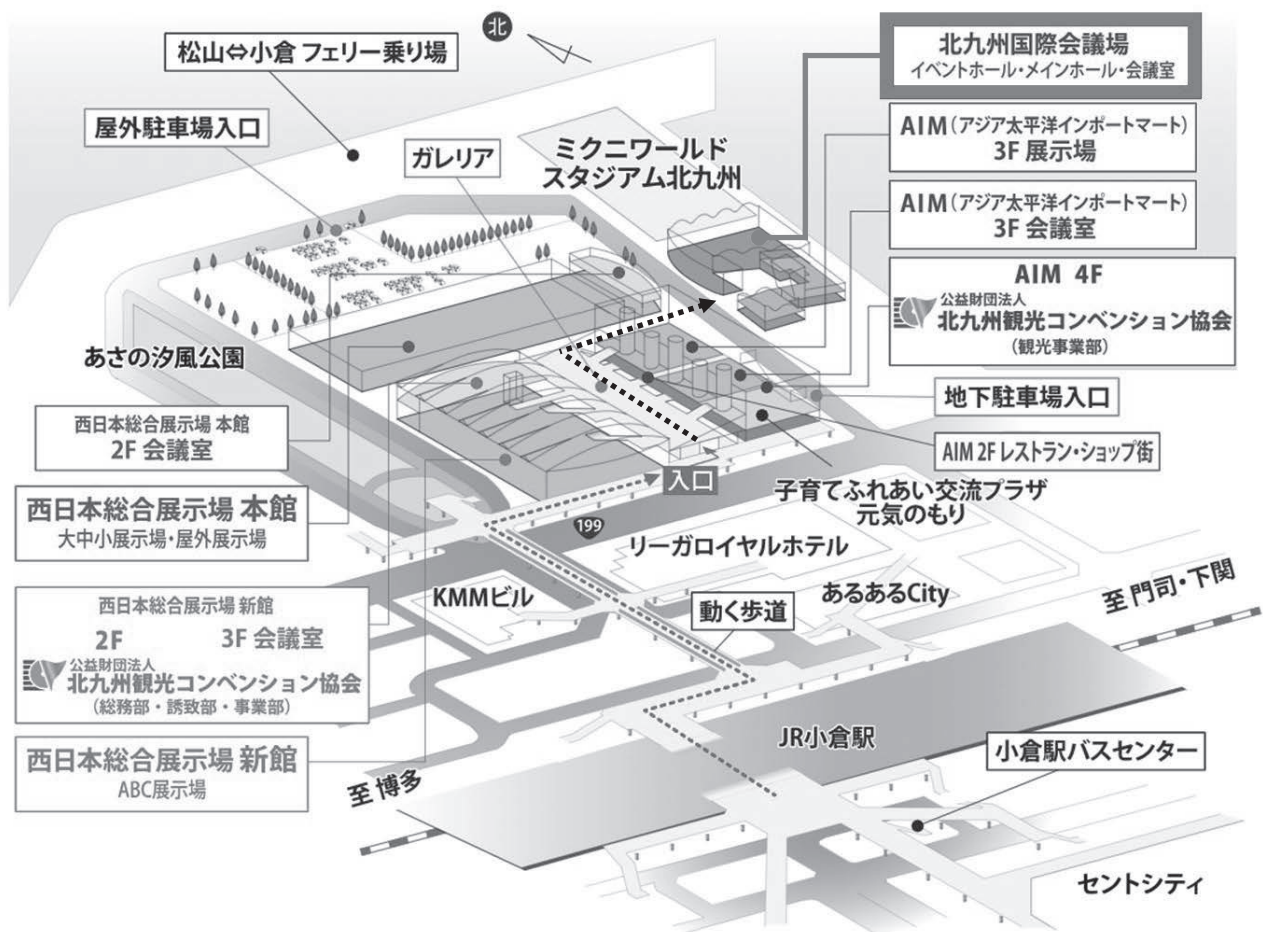
当院では2005年から、飯塚病院を手本としながら病院全体でTQM活動を推進してきました。最近の電子カルテや情報技術（IT）の進歩、そしてそれらの業務への活用など、未来に向けた期待と課題を実感しているところです。そういう意味もあり、第26回のテーマを、「医療DXと共に歩む改善活動」としました。自院の取り組みもまだこれからですが、多くの施設での先進的な活動、発表を期待しています。

医療DXやAIの進歩など、新しい潮流にうまく乗っていく上で、日本の未来、展望などをある程度知っておくことも必要と考えます。特別講演は、政策研究大学院大学学長の大田弘子先生にお願いしています。日本の医療政策についても、広い視野からご講演頂けるのではないかと期待しています。

北九州市は、九州の北東端に位置し、関門海峡を挟んで本州との交通の要所として発展してきた歴史があります。小倉城、門司港レトロ、皿倉山からの夜景などの観光地をはじめ、玄界灘、周防灘に囲まれ、新鮮な海の幸にも恵まれています。会場となる北九州国際会議場は、JR小倉駅から徒歩5分の位置にあり、新幹線、飛行機いずれでも利便性の良い会場です。是非多くの医療関係者の皆様にお越しいただき、活発な活動発表とともに、北九州市を満喫していただきたいと願っています。

北九州市での開催、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ご 案 内

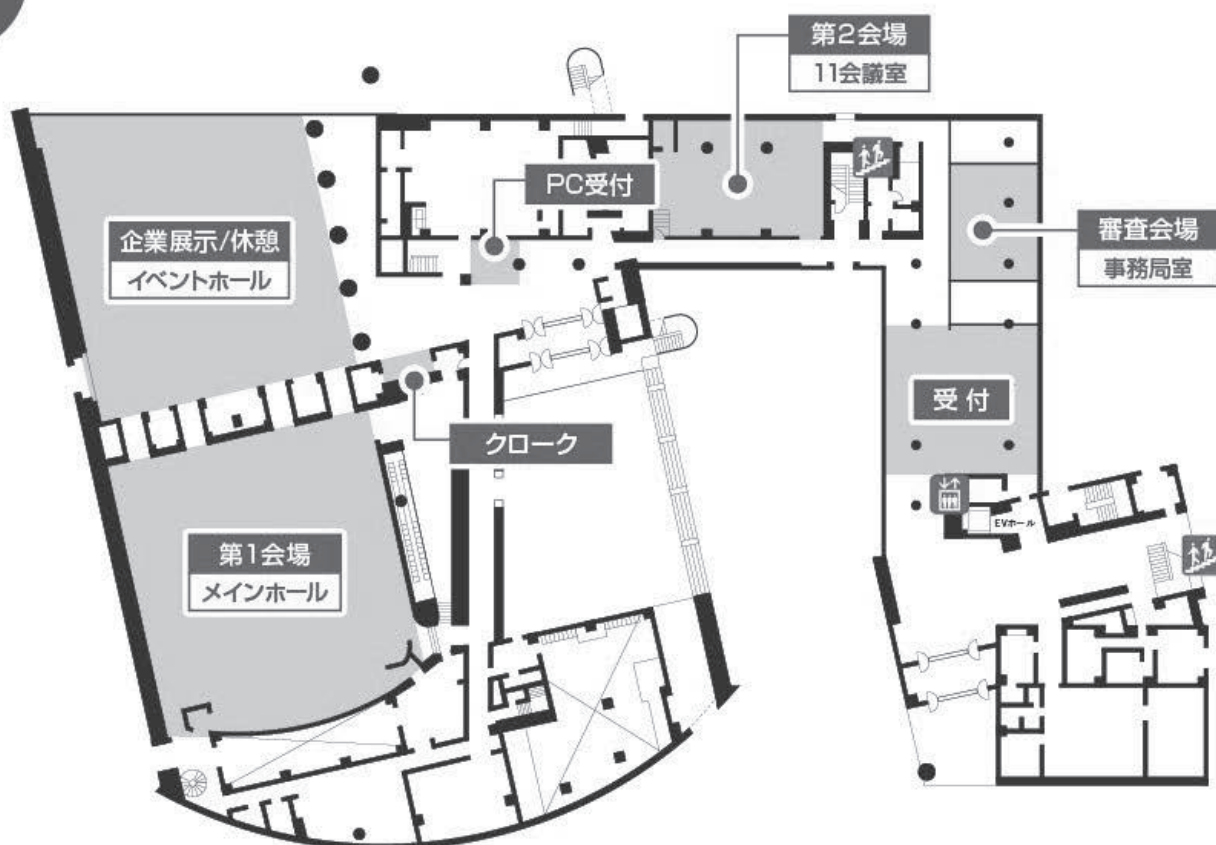


◆北九州国際会議場

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

アクセス詳細：<https://hello-kitakyushu.or.jp/access/>

1F



3F



第26回フォーラム「医療の改善活動」
全国大会in北九州 と同日、同施設にて
『第57回日本臨床分子形態学会総会』
が開催されています。
2階への立ち入りはご遠慮ください。

第26回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in北九州 プログラム

1日目：2025年11月14日（金）

名称		1F	2F	3F	
		第1会場 ホール	第2会場 11会議室	第3会場 32会議室	第4会場 33会議室
時間	分間	収容：524	収容：114	収容：114	収容：61
9:00	-	-	開場 9:00（教育セミナー参加者）		-
9:30～11:00	90	-	教育セミナー （管理者編）	教育セミナー （入門編）	-
開場 11:00					
11:10～11:40	30	-	お昼休憩	お昼休憩	評価者・審査員 オリエンテーション
お昼休憩（20分）					
開会					
12:00～12:10	10	理事長挨拶	-	-	-
12:10～12:20	10	大会長挨拶			
休憩（10分）					
12:30～14:05	95	改善事例発表 A	改善事例発表 B	改善事例発表 C	改善事例発表 D
休憩（10分）					
14:15～15:50	95	シンポジウムⅠ 医療システムのDX化に向けて ～電子カルテの将来と課題～	改善事例発表 E	改善事例発表 F	改善事例発表 G
休憩（10分）					
16:00:～17:00	60	特別講演 国立大学法人政策研究大学院大学 学長 大田 弘子	-	-	-

2日目：2025年11月15日（土）

名称		1F	2F	3F	
		第1会場 ホール	第2会場 11会議室	第3会場 32会議室	第4会場 33会議室
開場 8:00					
9:00～10:20	80	改善事例発表 H	改善事例発表 I	改善事例発表 J	改善事例発表 K
休憩（10分）					
10:30～11:50	80	改善事例発表 L	改善事例発表 M	改善事例発表 N	改善事例発表 O
休憩（20分）					
12:10～13:00	50	ランcheonセミナーⅠ JCHO九州病院	ランcheonセミナーⅡ 日本電気株式会社	-	-
休憩（10分）					
13:10～14:30	80	改善事例発表 P	改善事例発表 Q	改善事例発表 R	改善事例発表 S
休憩（10分）					
14:40～16:00	80	教育講演 医療のTQM推進協議会理事長 安藤 廣美	改善事例発表 T	-	-
休憩（20分）					
16:20～17:00	40	審査結果発表・表彰 次回大会長挨拶	-	-	-
閉会					

参加者へのご案内

◆受付方法

【事前参加登録された方】

- ・事前に大会ホームページより登録し、参加費を入金された方には、事前に参加証および抄録を送付いたします。
- ・当日は、参加証を受付に提示してください。
- ・会場内では必ず参加証を着用ください。

【当日参加登録される方】

- ・当日受付にて参加登録を受付いたします。
- ・参加費は現金のみのお取り扱いになります。
- ・学生の方は、学生証の提示をお願いします。なお、学生には大学生および看護師資格を有する研修学生は含みません。

【参加費】

区 分	事前登録	当日登録
会員および九州7県と山口県の未会員	12,000円(税込)	15,000円(税込)
九州7県と山口県以外の未会員	15,000円(税込)	15,000円(税込)
学生会員	当日登録のみ	1,000円(税込)

◆受付時間・場所

受付時間：11月14日（金）8：30～18：00
 11月15日（土）8：30～15：30
 受付場所：1Fエントランスホール

◆クローク

受付時間：11月14日（金）8：30～18：00
 11月15日（土）8：15～17：00

受付場所：第1会場横

※貴重品、コート類、その他壊れやすいものにつきましては、ご自身でお持ちください。お預けされた荷物の破損等につきましては補償いたしかねます。

◆飲食等について

ランチョンセミナー以外での配布はありません。

◆ランチョンセミナーについて

- ・整理券を1Fエントランスホールで配布いたします。
- ・整理券配布時間は11月15日（土）8：30～12：00（無くなり次第終了とさせていただきます。）
- ・先着順となります。整理券をお持ちでなくともご聴講いただけます。
- ・整理券はセミナー入室時に飲食物と引き換えいたします。
- ・整理券は12：20まで有効です。

発表者へのご案内

1. 発表時間
□演発表8分（質疑・講評を含めて1演題あたり12分の予定）
※時間厳守をお願いいたします。
2. 発表15分前までに会場内左前方の「次演者席」にご着席ください。発表者は演題のモニターで確認しながら、備え付けのマウスおよびキーボードを用いて演者自身の操作で進めてください。
3. 発表時間終了1分前を黄色ランプ、終了を赤ランプでお知らせします。
4. PC受付で用意しているPCは、Windows11（PowerPoint2019、365）です。フォントは標準装備されているものをお使いください。
5. PowerPointの発表者ツールはご使用いただけません。
6. 発表は、PCによる発表のみとさせていただきます。発表データは、Microsoft PowerPointで作成し、USBフラッシュメモリーにファイルを保存してご持参ください。発表用のPC持込はお断りします。
7. 発表時間になって会場にいない場合は欠演となります。
8. 本大会では各セッションごとに審査が行われ、優秀賞が決定します。また、閉会後に審査結果発表、ならびに表彰が行われます。優秀発表事例については、要約・報告分等を協議会ホームページで公開させていただく予定ですので、予めご了承ください。また、事例集の作成のため執筆をお願いする場合がありますので、その際にはご協力をお願いいたします。

<PC受付>

発表者は□演開始60分前までにPC受付にて発表データの試写・登録を行ってください。

日時：11月14日（金）8：30～16：30

11月15日（土）8：30～14：30

場所：第1会場横（クローク前）

優秀賞（表彰式について）

本大会では各セッションごとに審査基準に基づいた審査が行われ、優秀な演題には「優秀賞」が授与されます。1セッションから1サークルを選定し表彰されます。

全セッション終了後に審査結果、並びに表象が行われます。

日時：11月15日（土）16：20～17：00

場所：第1会場（メインホール）

改善事例発表の座長・講評者・審査員の先生方へのお願い

1. 受付について
来場の際は、必ず「講師・座長・審査者受付カウンター」にお立ちよりください。
2. 集合時間
 - ・「講師・座長・審査者受付カウンター」にて受付後、ご担当いただくセッションの開始15分前までに会場にお越しください。
 - ・「次座長席」は会場内右前方にございます。
 - ・審査基準Aのセッションは座長の先生の進行で、審査基準Bのセッションは進行担当のアナウンスにより進行します。
3. 発表について
 - ・□演発表は8分です。（質疑・講評を含めて1演題あたり12分の予定）
 - ・プログラムの円滑な進行のため、各セッションの時間管理を厳密にお願いします。

特別講演および教育セミナーの演者および座長の方へ

来場の際は「講師・座長・審査者受付カウンター」にお立ちよりください。

その他

- 会場内では、携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- 発表内容の写真撮影（携帯電話のカメラ含む）及び録音・録画などをご遠慮ください。
- 医療のTQM推進協議会理事長の許可がない展示。掲示、印刷物の配布。ビデオ撮影などをご遠慮ください。
- 遺失物は、総合案内（1F受付）でお預かりします。
- 建物内は禁煙となっています。
- 会場内の呼び出しは行っていません。緊急の場合は1F受付にご相談ください。
- 災害発生時は、各会場の避難アナウンスに従って行動してください。また、ご来場の際に各自、非常口や避難経路をご確認ください。
- 同施設内では他の学会も開催していますので、ご注意ください。

感染症対策について

- 風邪のような症状がある方、体調不良の方はご来場をお控えください。
- マスク着用は任意とします。

審査基準

- A. 総合的な評価（重要性、有効性等を重視した総合的な評価）
- B. 改善の手順を含む評価（QCストーリーに準拠した発表が対象）

審査基準

- A. 総合的な評価 計25点

- ①重要性 5点

参考：取り組んだ課題は自分の病院の品質方針の実現あるいは病院のケアやサービスの質向上に寄与していると考えられるか。

日本の病院が直面している課題に積極的に取り組んでいるかなど。

- ②有効性 5点

参考：この取り組みが目指したことはどの程度実現されたか。

目的、目標は達成されたか。

この取り組みは同種の問題や課題に直面する他の医療機関の参考となるかなど。

- ③実証性／妥当性 5点

参考：事実やデータ、その他の信頼できる根拠に基づいているか。

改善を導く手順、データの扱い、論旨の立て方は妥当かなど。

- ④工夫／斬新さ 5点

参考：取り組みの計画またはこれを実践する過程で豊かな創意工夫が認められるか。

日本の医療機関でこれまであまり行われていない新しいアプローチや方法が行われたかなど。

- ⑤加点 「最高」5点 TQM／QCが重視する基本的な考え方が発揮されているか。

参考：“患者／顧客本位” 後工程はお客様 “システム思考” “重点指向”

“プロセスで作りこめ” “失敗に学ぶ” “ムリ・ムダ・ムラをなくす” など。

- B. 改善の手順を含む評価（QCストーリーに準拠した発表に限る） 計100点

- 1. 問題解決型

- 2. 課題達成型

審査ポイントの詳細は審査シート参照。

審査基準A用 審査シート

評価項目	詳細内容	評価点
1. 重要性【5点】	①この取り組みは、医療の質向上や組織にとって重要であるか？ ②取り組んだ課題は、自分の病院の品質方針の実現やケアサービスの質向上に寄与しているか？	5 4 3 2 1
2. 有効性【5点】	①取り組みの効果は顕著に表れているか？ ②この取り組みで目指したことは、どの程度実現しているか？	5 4 3 2 1
3. 実証性／妥当性【5点】	①事実やデータ、その他の信頼できる根拠に基づいているか？ ②改善を導く手順、データの扱い、論旨の立て方は妥当か？	5 4 3 2 1
4. 工夫／斬新さ【5点】	①取り組みの計画や実践する過程で、豊かな創意や工夫が認められるか？ ②日本では見られない、新しいアプローチ方法が使われているか？	5 4 3 2 1
5. 加点【5点】	TQM/QCで重視する基本的な考え方が発揮されているか？	5 4 3 2 1
参考項目	“患者／顧客本位”の考え方	1 0
	“後工程はお客様”の考え方	1 0
	“システム思考”の考え方	1 0
	“重点指向”の考え方	1 0
	“プロセスで作りこめ”の考え方	1 0
	“失敗に学ぶ”考え方	1 0
	“ムリ・ムダ・ムラをなくす”考え方	1 0
	その他（ ）	1 0
合計		／25点

※参考項目については、「TQM/QCの基本的な考え方」が発揮されていれば加点する。合計が5点を超えた場合でも、上限は5点とする。

審査基準B用 審査シート（問題解決型・課題達成型 共通）

評価項目		事例発表内容の審査ポイント	評価点
QCストーリーのステップによる評価	① テーマ選定（10点）	病院や上司方針、実効性、経済性、チームの実力などを考慮し、職場の多くの課題の中から選択し、選定理由を明確にしているか？ また、問題の背景を説明し、テーマに説得力があるか？ 活動計画を立て、ステップ毎に、メンバーの役割・分担を明確にしているか？	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1
	② 現状把握（15点）	データを取る目的を明確に示し、悪さ加減が分かるように把握し、視覚的（図・表・グラフ等を活用）に表しているか？ 一面的な現状把握に留まらず、悪さ加減を多面・多角的にとらえ、データを層別して分析・考察を十分に行っているか？	5 4 3 2 1 10 8 6 4 2
	③ 目標設定（10点）	現在のレベルと要望レベル、そのギャップを客観的に把握しているか？ 『何を』『いつまでに』『どのように』達成するかを明確に示し、目標を『数値』で示し、目標値を算定した『根拠』を具体的に説明しているか？ 目標達成の数値設定は妥当か？ 100%の結果を狙ったり、極端に低いレベルを目標にしたりしていないか？ サークルの実力に見合った妥当性のある目標であるか？	5 4 3 2 1 10 8 6 4 2 5 4 3 2 1
	④ 要因解析（15点）	現状把握で把握した悪さの要因を『なぜ、なぜ…』を繰り返して十分に洗い出し、適切な解析を行い、重要要因を絞り込み、明確にしているか？ 重要要因を仮説として把握し、真の要因を発見するために聞き取り・実態調査等の方法で事実・データを把握して、真の要因であることを検証しているか？	5 4 3 2 1 10 8 6 4 2
	⑤ 方策の立案（15点）	方策案（アイデア）を十分に洗い切っているか？ 実現性にとらわれずに、効果があると思われる対策を評価し選び出しているか？	5 4 3 2 1 10 8 6 4 2
	⑥ 対策の立案と実施（15点）	検証した要因に基づき、具体的でアイデアに富んだ対策を立てているか？ 立てた対策を実施し、実施内容を具体的にプレゼンテーションしているか？	5 4 3 2 1 10 8 6 4 2
	⑦ 成功シナリオの追求と実施（15点）	効果が高いと思われる方策の実現性や経済性などで評価し、最適策を選んでいるか？ 立てた最適策を具体的にプレゼンテーションしているか？ 予想される障害及び悪影響を考慮し、その事前防止策を検討しているか？	10 8 6 4 2 5 4 3 2 1
	⑧ 効果の確認（10点）※上記2項目はいずれかを選択	※ いずれかを選択 目標を達成している場合… 達成の程度を審査員の内的基準で判断する 目標を達成していない場合… 要因解析（方策の立案）や対策立案・実施（成功シナリオの追求と実施）のステップに戻って再挑戦しているか？ 再挑戦の結果、目標を達成しているか？ 現状把握と同じ尺度（期間・方法）で測定し、有形効果・無形効果・波及効果まで把握しているか？	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1
	⑨ 標準化と管理の定着（5点）	5W1Hで整理し、標準化・管理の定着・教育に分類してまとめているか？	5 4 3 2 1
	⑩ 反省と今後の進め方（5点）	良かった点・悪かった点・進め方などがステップごとに分かる反省になっているか？ 反省に基づいて、次の活動への展望に繋がっているか？	5 4 3 2 1
	⑪ プレゼンテーション（5点）	理解しやすい発表だったか？ パワーポイント、報文集は見やすかったか？	5 4 3 2 1
	⑫ 全体評価（加点・10点）	医療の質改善（QC的、ものの見方・考え方）という観点から評価して、10点満点で加点してください	10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
合計			／100点

※ ステップ②、④、⑤の網掛け部分は課題達成型の評価項目です。【評価点×2】は、10点満点になります。

※ 規定時間を超過した場合、時間量に関係なく、各審査員の平均点から1点減点します（講評者が判断）。

□ -1点

◆審査基準 A 審査者リスト

座 長

氏名	所属施設名	職種	役職
中島 雄一	飯塚病院	医師	副院長
中田 尚子	埼玉県立小児医療センター	看護師	副病院長 兼 看護部長
野土 信司	明石市立市民病院	医師	副院長
柳川 達生	練馬総合病院	医師	院長
山内 正信	島根県立中央病院	医師	医療局長、TQM推進WG委員長

審査員

氏名	所属施設名	職種	役職
伊田 勉	市立青梅総合医療センター	医師	部長
柴田 和彦	厚生連高岡病院	医師	院長
鈴木 清志	埼玉県総合リハビリテーションセンター	薬剤師	薬剤科 科長
十河 匡光	那須赤十字病院	臨床工学技士	課長
船井 一行	社会医療法人 生長会	事務員	室長

◆審査基準 B 審査者リスト

講評者

氏名	施設名	職種	役職
大下 眞	社会医療法人 水と会 水島中央病院	診療放射線技師	技師長
大山 紀美江	地方独立行政法人 広島県立病院機構 県立広島病院	看護師	主任
尾上 裕一	公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院	言語聴覚士	主任
掛屋 弘	公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院	医師	教授
古賀 秀信	飯塚病院	臨床検査技師	副室長
澤田 樹佳	さわだクリニック	医師	院長
鈴木 靖士	独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター	医師	臨床研修 部長
鷹野 邦一	佐久総合病院	事務	参与
津川 智一	岩国市医療センター医師会病院	事務	事務長
馬場 由美	独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター	看護師	TQM推進係長
原田 政実	公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院	診療放射線技師	科長
藤崎 良一	成田赤十字病院	薬剤師	副部長
村元 茜	公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院	看護師	副主任
山村 陽介	公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院	理学療法士	主任
山本 桂	社会医療法人 生長会	臨床工学士	室長補佐

◆審査基準 B 審査者リスト

審査者

氏名	施設名	職種	役職
阿部 哲晴	練馬総合病院	事務員	事務長
一條 真彦	武蔵野赤十字病院	医師	脳神経内科 副部長
宇野 公裕	医療法人社団 日本鋼管福山病院	理学療法士	リハビリテーション科技術主任
江原 花梨	成田赤十字病院	薬剤師	
王野 美里	社会医療法人 水代会 水島中央病院	事務	医療秘書課主任
岡野 真由美	医療法人社団 日本鋼管福山病院	看護師	中央材料・手術室師長
小宅 典子	伊勢赤十字病院	薬剤師	課長
片井 一仁	社会医療法人恵仁会 くろさわ病院	診療放射線技師	主任
上垣 高次	武蔵野赤十字病院	事務	医療連携課 係長
川村 梨栄	岩国市医療センター医師会病院	事務	総務課長
木下 裕子	伊勢赤十字病院	看護師	師長
木野村 仁	博愛会病院	理学療法士	主任
杉浦 一弘	明石市立市民病院	放射線技師	副室長
鈴木 篤明	トヨタ記念病院	理学療法士	技師長
高良 沙知	那覇市立病院 患者支援部患者サポートセンター	看護師	主任看護師
長嶺 宏明	公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院	医師	病院講師
藤永 裕子	社会医療法人製鉄記念八幡病院	看護師	
藤原 真	東住吉森本病院	作業療法士	科長
藤原 正子	明石市立市民病院	看護師	副室長
古屋 能孝	武蔵野赤十字病院	病理部	臨床検査技師 技術係長
細木 美奈子	厚生連高岡病院	看護師	看護師長
松永 徹	トヨタ記念病院	事務	シニアエキスパート
宮地 牧子	福井赤十字病院	看護師	看護係長
宮野音 努	市立三次中央病院	放射線科技師	技師長
村山 弘三	社会医療法人蘇西会厚生会松波総合病院	事務	課長
村山 留美	市立三次中央病院	作業療法士	技師
山口 悦子	国際医療福祉大学医療安全管理学		教授
吉川 匠	社会医療法人恵和会 西岡病院	医師	内科医長
米村 里美	福井赤十字病院	看護師	看護係長
渡邊 輝子	練馬総合病院	看護師	師長

特 別 講 演

「まず、やってみよう！」

大田 弘子

政策研究大学院大学 学長

特 別 講 演



大田 弘子

所属

政策研究大学院大学 学長

プロフィール

1976年一橋大学社会学部卒。

1996年埼玉大学大学院政策科学研究科助教授

1997年政策研究大学院大学助教授

2001年同教授

2002年内閣府に出向し、参事官、大臣官房審議官、政策統括官を務める

2005年大学復帰

2006年安倍・福田両内閣で経済財政政策担当大臣

2008年8月大学に復帰

2022年9月から現職

2002年、小泉純一郎内閣のときに大学から内閣府に出向し、政策の現場に身を置いた。小泉構造改革の司令塔となっていた経済財政諮問会議の事務局を務めた後、安倍・福田両内閣では、担当大臣として同会議の運営を担った。

閣僚を辞めた後は大学に戻り、規制改革推進会議委員や政府税制調査会委員などを通して政策に関与。2016～19年は規制改革推進会議議長を務める。

他方、パナソニック株式会社、ENEOS株式会社、みずほフィナンシャルグループなどの社外取締役を務め、現在も、日本取引所グループの社外取締役を務める。

専門分野は、経済政策、財政政策。学長を務める政策研究大学院大学は、政策研究・教育に特化した大学院だけの国立大学法人で、世界50か国以上から政府関係者等が集まって学んでいる。2024年春に旭日重光章受章。

特 別 講 演

「まず、やってみよう！」

大田 弘子

政策研究大学院大学 学長

日本の経済力がじわりじわりと低下しています。技術力の高さや人材の厚みを誇ってきた日本経済でしたが、いつのまにか、デジタル化の遅れやイノベーション力の欠如が指摘されるようになりました。この背景に何があるのでしょうか。

政策の現場に身を置き、また、日本生産性本部の副会長やいくつかの企業の社外取締役を務めた経験から言えるのは、企業においても、政策面でも、共通する問題があるということ。それは、「やるべきことはわかっているのに、なかなか実際の改革ができない」という状況です。

言い換えれば、高齢化、グローバル化、デジタル化など、経済環境は大きく変化しているにもかかわらず、それに応じて、経済構造を変革していく力が弱いということです。そのために、わが国がもつ技術、人材、資金などの資源が十分に生かされていません。

とくに、近年のデジタル化のなかでは、自己変革が苦手という欠点は致命的な問題です。技術の変化は非常に速いのに、制度の改革がそれに追いつかず、したがって、日本の持てる力が生かせないのです。

本講演では、この問題をどう乗り越えていくかを一緒に考えたいと思います。いま世界経済の枠組みが大きく変わろうとしており、かつてないほど不確実性が高まっています。こういうなかで、活力のある日本経済をどうしたらつくっていただけるのか、質の高いものが生み出される経済をどうつくっていくのか、10年後に思いを馳せて、課題を考えてみたいと思います。

教育セミナー

入門編

日時：11月14日（金）9：30～11：00

会場：第3会場（32会議室）

管理者編

日時：11月14日（金）9：30～11：00

会場：第2会場（11会議室）

教育セミナー 入門編

実践的な問題解決型ストーリーの進め方

林 嗣人

社会医療法人恵仁会 本部 TQM推進室事務局 主任

【目的】

改善活動における考え方の理解を深めるとともに職場における改善活動を効果的に進めるためのノウハウを習得し、実践に活かす。

- ①改善活動の基本的概念・考え方
- ②改善活動のステップ、活動の進め方、手法

【対象者】

改善活動における活動者等

教育セミナー 管理者編

管理者・推進者セミナー

～QCサークル活動と支援のポイント～

古賀 秀信

株式会社麻生 飯塚病院 医学研究推進本部 臨床研究支援室

【目的】

改善活動を含めたTQM（QCサークル活動）の導入を検討している施設の幹部や推進者を対象に、推進・活性化のKnow Howについて共有し、自施設での今後の実践に活かす。

- ①改善活動（品質管理）は何故、必要か
- ②支援者・推進者からみたTQM（QCサークル）活動のポイント
- ③QCサークル活動を定着させるために

【対象者】

TQM（QCサークル活動）の導入を検討している、または導入している施設の経営幹部、改善活動における推進者等

シンポジウム

医療システムのDX化に向けて ～電子カルテの将来と課題～

座長 中村 博亮

大阪公立大学医学部附属病院 院長

シンポジスト

角 俊幸

大阪公立大学医学部附属病院 副院長

病院業務 DX 推進の要旨

医療現場における DX（デジタルトランスフォーメーション）は、単なる IT 導入ではなく、業務プロセスの再設計と標準化を通じて、患者・医療従事者双方に価値を提供する仕組みを構築することが目的です。以下に、DX 推進の視点を整理します。

1. DX により解決できる課題

現場では、紙ベースの情報管理やシステム間の連携不足や、人手に頼る部分がまだまだ多く、情報検索や入力に時間を要し、診療効率が低下しています。さらに、診療報酬請求や業務手順管理などの事務作業が煩雑で、人的リソースを圧迫しています。日々の何とかならないかとの思いを含め、情報の一元化・自動化を進めることで、業務負担を軽減し、患者対応時間を増やすことが可能です。

2. 電子カルテの将来を見据えた推進

電子カルテは病院 DX の中核です。今後は、AI による診断支援、音声入力、クラウド連携による地域医療ネットワークの構築が進むと予測されます。これにより、診療記録の精度向上、医師の入力負担軽減、患者情報の安全な共有が実現します。導入時には、既存システムとの互換性やセキュリティ強化を重視する必要があります。

3. 業務標準化の重要性

DX を成功させるためには、業務の標準化が不可欠です。現場ごとに異なる運用ルールや入力方法が存在すると、システム導入後も非効率が残ります。標準化の対象は、診療記録の入力項目、オーダリング手順、患者対応フロー、請求処理フローなどです。標準化により、データの品質が向上し、AI や分析ツールの活用が容易になります。

4. 理想的な施行順序

現場の混乱を防ぎ負担を最小化するためには、基本方針に基づき段階的な対応が重要です。

第 1 段階：病院基本方針決定

第 2 段階：紙業務のデジタル化（予約、会計、業務管理等）

第 3 段階：業務標準化と電子カルテの機能拡張（音声入力、モバイル対応等）

第 4 段階：AI 診断支援やデータ分析基盤の構築

5. 実施にあたっての具体的問題点

導入コスト：物価高騰に伴うコスト増

システム間連携：既存システムとの統合に時間とコストがかかる

セキュリティリスク：個人情報保護法への対応、クラウド利用時の暗号化

人材不足：IT リテラシーの差による教育コスト増加

標準化への抵抗：現場の慣習や診療科ごとの運用差異への対応

これらを事前に洗い出し、対策を講じることが成功の鍵です。

6. 効率化・経営上のメリット評価基準

DX の効果を定量的に評価するため、以下の指標を設定します。

業務時間削減率：診療記録入力時間の短縮

患者満足度：待ち時間の減少、説明の質向上

収益改善効果：診療報酬請求の精度向上による未収減少

コスト削減額：紙・保管スペース・人件費の削減

教育研究対応：教育研究に係る成果（大学病院として加えたいが指標が難しい）

地域連携と持続可能な医療提供体制の構築に向けて

藤川 敏行

倉敷中央病院 情報システム部長

本年、国内に電子カルテシステムが導入されてから四半世紀が過ぎた。この間、「医師の働き方改革」や「診療情報の共有」など、一定の成果は見られたものの、医療現場全体を変革するようなインパクトには至っていない。こうした停滞を打破し、医療の質と効率を飛躍的に向上させる可能性を秘めているのが、病院DX（デジタルトランスフォーメーション）である。

病院DXの推進にあたり、最も重要な基盤となるのが情報インフラの整備である。今後、DX関連施策を安全かつ効果的に運用するためには、医療機関内のネットワーク環境、端末、データ管理体制などが十分に整備されていることが前提となる。特に近年では、医療機関を標的としたサイバー攻撃、なかでもランサムウェアによる被害が深刻化しており、情報セキュリティの確保はDX推進の根幹をなす課題となっている。

病院DXの本質的な価値は、個々の医療機関の効率化にとどまらず、地域に点在する医療機関を有機的に接続し、仮想的にひとつの病院として機能させることにある。これにより、患者は地域内で一貫した医療サービスを受けることが可能となり、医療資源の最適配置や診療の継続性が飛躍的に向上する。こうした連携を実現するためには、医療情報の共有に加え、医療情報システムそのものの共同利用が不可欠であり、地域全体での情報基盤の整備が求められる。

加えて、少子高齢化の進行や医療費抑制政策、診療報酬改定の影響などにより、病院経営は今後ますます厳しさを増すことが予想される。限られた人材・資源の中で持続可能な医療提供体制を維持するためにも、DXによる業務効率化や経営の可視化、データに基づく意思決定の高度化は不可欠である。病院DXは、医療の質向上と同時に、経営基盤の強化にも資する戦略的な取り組みとして位置づけられるべきである。

電子カルテ導入から四半世紀が経過した今こそ、病院DXを単なる技術導入ではなく、地域全体として、医療の質と効率を両立させる文化的・組織的変革として捉えるべきである。本シンポジウムでは、これまでの歩みを振り返りつつ、今後の病院DXのあるべき姿と実効性ある施策について議論を深めたい。

シンポジスト

城野 政博

株式会社麻生 飯塚病院 情報システム室 室長

飯塚病院は福岡県飯塚市に位置し、病床数1,006床、職員約2,500名、45診療科を擁する地域医療支援病院である。1918年(大正7年)に開設し、「We Deliver The Best～まごころ医療、まごころサービス、それが私たちの目標です～」を経営理念に掲げ、TQM活動を日常的に推進している。2022年には医療機関として世界で初めてデミング賞を受賞しており、継続的な改善活動が当院のDX推進の原点となっている。

この改善活動のDNAをITの側面で具現化しているのが、当院の「自院開発」体制である。1,000床を超える規模の病院でシステム開発・保守を自院で行うことは全国的にも稀であり、情報システム室には26名のスタッフが在籍する。1976年の発足以来49年間継続してきた体制により、昨年度は約1,700件に及び診療現場からのシステム開発やデータ抽出などの要望に迅速かつ柔軟に対応している。開発手法は現場医療者との協働を重視したアジャイル型を採用し、ベンダー任せにせず病院主導でITを推進できる点が特徴である。この仕組みは「医療の質の向上」「患者サービスの質の向上」「経営の質の向上」という三つの羅針盤に基づき、DXを推進する基盤にもなっている。

近年はRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)による業務自動化で年間約16,300時間の業務削減を達成。加えて、AIを用いた退院日予測、iPhoneを活用した診療情報参照やナースコール連携、地域医療機関との転院調整・医療コンサルトシステムの開発など、ICTを駆使した業務改革を継続している。また、DX推進担当看護師を中心に、現場主導によるデジタル化が進み、業務効率化ツールの開発など実践的な取り組みが広がっている。さらに、診療部長医師が室長を務めるCI推進室(Clinical Informatics)では、医師をはじめとする職員のDX推進能力向上を目的に教育プログラムの作成を進めており、デジタル変革を支える基盤づくりが進展している。

一方で、自院開発ならではの課題も多い。診療報酬改定や厚生労働省の電子カルテ共有サービスなど、制度変化に迅速かつ正確に対応する必要がある一方で、システムの老朽化や開発案件の増加が運用負荷となっている。加えて、電子カルテの価格高騰、地域医療機関におけるIT環境整備の遅れ、クラウド活用に伴うセキュリティ対策・法整備、IT人材不足などは全国的課題である。

当院が掲げる未来の電子カルテのキーワードは「構造化(Structuring)」「相互運用性(Interoperability)」「高度な診療支援(Meaningful Use)」である。政府が推進する全国医療情報プラットフォームや標準型電子カルテへの対応が進む中、クラウド化、AI活用、PHR(Personal Health Record)連携、病院・診療所・在宅・介護施設間連携、さらには予防医療までを見据えた柔軟な設計が求められる。また、医療従事者一人ひとりがITリテラシーを高め、生成AIやデータ分析ツールなどを主体的に活用する力を持つことが、医療DXを真に推進する原動力となる。

本シンポジウムでは、当院のITの取り組みを通じ、電子カルテの将来像と課題を共有する。ICTなくして医療は成り立たない時代に、ICTを核に、より良い医療の実現に向けた挑戦を続けたい。

教育講演

教 育 講 演

私が辿ったTQMへの道 —先達の叡智を尋ねる旅—

座長：伊澤 敏 佐久総合病院 臨床顧問
講師：安藤 廣美 一般社団法人医療のTQM推進協議会 理事長

【はじめに】第26回医療の「改善活動」in北九州における教育講演を担当するにあたり、会員各施設がこれ迄構築された医療のTQMと共有可能な内容としました。講演内容は以下の通りです。

I. 医療の総合的品質管理に関する実証的研究

飯塚病院は1992年からQC活動を導入し、「TQM活動」と称して改善活動を含めた病院のTQM構築に取り組んできました。切掛けは、Brigham & Women's Hospitalの当時院長であったリチャード・ネッソン氏の「麻生飯塚病院は企業立であるから理解できると思うが、TQM活動を取り入れるべきである」との助言であった。米国では1987年の医療の質向上に関する国家実証プロジェクト（NDP）を開始しており、その体験からQC活動を逆輸入することとなりました。

II. フロイト理論と品質管理

フロイトは1920年に「快樂原則を超えて Beyond the pleasure principle」を発表し、煩悩としてのイドId、善行を目指す超自我、超自我を達成しようとする自我の関係性を述べました。正に我々は「世のため、人のために」善行を発想し、自我をもって実現することで現実社会に受け入れられることを目指しています。

III. 人類の進化と脳の発達

この当時NHKで「人類誕生」をみる機会があり、「狩りに目覚めた人類一心の進化—」篇で、進化に比例して脳の容積の増加との関連が示されました。前頭葉の進化です。

前頭葉では、眼窩の直上には眼窩前頭野、その上に背外側前頭野、中心に前帯状回があり、これまでの研究から眼窩前頭野は人や社会に共感し、情報を得る。背外側前頭野はリーダーシップとして善行の目標を掲げる、存在する課題解決のために前帯状回が機能する事と一致することが判ります。この関係性はジョン・ボイドのOODAループと同じ理論であります。我々は相手の弱点をサポートしますが、後者では弱点を攻撃する違いはあります。

教 育 講 演

私が辿ったTQMへの道 —先達の叡智を尋ねる旅—

IV. 一日でガレー船を一艘造る

シアトルのバージニアメイソン病院からの学びはトヨタ生産方式でした。自動車は約1分間に1台のペースで生産されるそうです。起源としてはイタリアのアーセナルにおける「ガレー船を1日に1艘造る」発想と同じです。例えば実際には100日かかる造船では、運河に100艘の工程ごとの船を並べれば1日に1艘造ることが可能です。

V. サイバネティックス

PDCAサイクルと同様、サイバネティック・ループがあります。違いは後者には人や社会など顧客となるシステムが組み込まれているのです。彼らは1943年に「行動・目的・目的論 Behavior, Purpose and Teleology」を発表し、人間の脳機能の原理を数学的に理解することで迎撃ミサイルの開発を可能にした。AIへの応用も彼らサイバーネティシヤンの仕事です。

VI. 仏陀の教え

スリランカ国でQCストーリーを講義する機会がありました。その時聴衆からの質問の中に「お前は仏教徒か？」との質問がありました。浄土真宗である私は「私は仏教徒です。」と回答しました。すると彼は「今お前が話した内容は仏陀の教えだ。」と教えてくれました。確かに、仏教の教義の中心は「四諦・八正道」であることが判り、これは正に改善（品質管理）の内容であることが理解出来ました。

医療のTQM推進協議会はTQM構築のために必要な情報を収集できる場所です。多くの会員とコミュニケーションする中から各組織に必要な情報を吸収してください。

改善事例発表

1日目 11月14日(金)

NO.	病院・施設名	演題名
A 診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの【審査基準B】		
A-1	特別養護老人ホーム ケアポート板橋	舟渡地域包括支援センターにおける書類仕分けの作業時間短縮
A-2	製鉄記念八幡病院	医療相談室における休憩時間不足の改善
A-3	仙台医療センター	おかえり私物～さよなら制限～
A-4	大原記念財団	大原栄養科SDGs ～Sさぁ！D団結してGゴミS削減！！～
A-5	成田赤十字病院	ブリナツモマブ療法開始用量における薬品費の削減
A-6	トヨタ記念病院薬	薬剤科の働き方改革 ～少数精鋭で乗り切ろう！～
A-7	中頭病院	地域医療連携室における返書管理業務の見直し
B 患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの【審査基準B】		
B-1	姫路赤十字病院	入退院センターにおける患者の待ち時間の削減～患者の集中回避を目指して～
B-2	熱田リハビリテーション病院	リハビリテーション科における自主訓練未提供率の低減
B-3	福井赤十字病院	入退院支援センターの業務改善 ～患者を待たせない入院前支援～
B-4	海邦病院	他院紹介時 他部署との連携をスムーズに行う～共通のツールを活用して～
B-5	介護老人保健施設トリトン	老健介護課におけるレクリエーションの実施率の増加
B-6	石巻健育会病院	緊急入院における入院オリエンテーション時間の削減
B-7	製鉄記念八幡病院	腎センターにおける透析待ち時間の短縮
C 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの【審査基準A】		
C-1	福井赤十字病院	チーム力向上の取り組み～医事課の働き方改革～
C-2	中頭病院	手術室における「ロス材料の低減」にむけて
C-3	田宮病院	不安と自信が50-50!?～オリエンテーションを統一して不安を解消しよう～
C-4	那須赤十字病院	電子カルテシステムを活用した業務の効率化
C-5	藤本病院	サマリー作成の負担を減らせ～書くから選ぶへ
C-6	武蔵野赤十字病院	システム障害時に外来診療をとめないために
D 診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの／質管理システムの構築をめざすもの【審査基準B】		
D-1	愛媛県立中央病院	嚥下評価パワー不足（評価が適切にできない）の低減
D-2	東住吉森本病院	緩和ケアリハビリテーションの質の向上を図る
D-3	大阪公立大学医学部附属病院	誤嚥予防にむけたポジショニングへの取り組み
D-4	JCHO九州病院	外来透析患者における透析中の血圧変動幅の減少
D-5	ベルランド総合病院S	Sustainable/ハイケアユニット加算
D-6	益田地域医療センター医師会病院	シャントエコーの実践から運用まで ～タスクシフト・シェアに向けて～
D-7	JCHO九州病院	造影CT検査における血管外漏出低減に向けた取り組み

1日目 11月14日(金)

NO.	病院・施設名	演題名
E 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの【審査基準B】		
E-1	西岡病院	在宅酸素療法導入における手順の明確化
E-2	豊田地域医療センター	入院時間の短縮に向けた取り組み
E-3	中頭病院	SmartHRを活用した車両管理・登録作業のスリム化
E-4	加古川中央市民病院	コスト削減ができる体制を整備しハイケアユニットにおけるコストの削減をする
E-5	製鉄記念八幡病院	書類の不備をなくそう
E-6	松江赤十字病院	Ecology Reduce Challenge 患者のために 病院のために 地球のために ～ERCから始める無駄紙削減への挑戦～
E-7	トヨタ記念病院	業務改善～ムダに気づいた私たち～
F 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの／質管理システムの構築をめざすもの【審査基準A】		
F-1	飯塚病院	病棟循環型貸出システムの改善～輸液ポンプの効率運用・貸出庫のゼロからの脱却～
F-2	熊本赤十字病院	人事課カウンター革命～窓口業務の効率化～
F-3	くろさわ病院	ペーパーレス～紙出力のコスト削減～
F-4	田宮病院	そろそろ休憩にしませんか？
F-5	東住吉森本病院	急医療管理加算の算定基準を明確化しよう！
F-6	埼玉県立小児医療センター	行動制限最小化（身体抑制ゼロを目指す）
F-7	武蔵野赤十字病院	脳卒中ACPスクリーニング後の介入件数を増やしたい
G 患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの【審査基準B】		
G-1	日本鋼管福山病院	動画利用で待ち時間の短縮 ～AIで愛のある説明に?キュンです?～
G-2	さっぽろ香雪病院	Come on デイケア 見学だよ みんな集合！
G-3	ヘルファミリア	新規獲得大作戦
G-4	さなだクリニック	へき地診療における発熱外来の確立にむけて
G-5	宮本病院	小児科患者数あっぴっぴ
G-6	県立広島病院	緊急入院における入院要請から入床までの受け入れ時間の低減
G-7	穎田病院	KAITA ONE PIECE～病床稼働率を上げるために私たちができることは～

2日目 11月15日(土)

NO.	病院・施設名	演題名
H 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの【審査基準B】		
H-1	浦添総合病院	中央材料室 委託業者の業務を見直したい
H-2	愛媛県立中央病院	在庫管理における在庫切れの未然防止
H-3	中頭病院	手術前の身長体重測定は必要ですか？あたりまえをやめましょう
H-4	博愛会病院	救急室の物品管理を徹底しよう！
H-5	総合病院国保旭中央病院	病棟での混合調製件数を80%削減する
H-6	三重県立総合医療センター	滅菌手袋のムダをなくそう
I 診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの【審査基準B】		
I-1	姫路赤十字病院	内視鏡センターにおける「経口腸管洗浄剤」院内服用の削減 ～安心でスムーズな大腸内視鏡検査を目指して～
I-2	松江赤十字病院	肝炎ウイルス検査陽性患者における消化器内科紹介率を向上させよう！
I-3	海邦病院	迅速な退院調整を行うために
I-4	三萩野病院	“寝る”だけじゃない！マットレスの効果的な活用
I-5	トヨタ記念病院	見直そう！周産期センター内の応援体制
J-6	水島中央病院	新規糖尿病患者の歯周病治療率UPを目指して
J 診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの【審査基準A】		
J-1	中頭病院	再穿刺率0を目指して～エコー下穿刺の活用～
J-2	JCHO九州病院	リンパ浮腫ケアファミリー 多職種連携システムの構築
J-3	飯塚病院	ポート自己抜針(Pt)が可能なレジメンで、対象患者を選別しポート自己抜針(Pt)導入方法を検討する
J-4	徳島県立中央病院	A病院B病棟における身体的拘束率の低減
K 安全の向上をめざすもの【審査基準B】		
K-1	仙台医療センター	防ごうインシデント《医療安全に対するさらなる意識向上を目指して》
K-2	福井赤十字病院	看護助手が挑む！誤認事故を起こさない安全な患者搬送体制の改善活動
K-3	大阪公立大学医学部附属病院	プロボフォル開始直後のルート再挿入減少への取り組み～患者に安全・安楽な治療を～
K-4	愛媛県立中央病院	看護師業務における鋭利単回使用物品廃棄忘れの未然防止
K-5	熊本赤十字病院	病棟における誤薬件数の低減に向けた取り組み
K-6	旭川医療センター	君の名は。～患者検体ラベルを貼ろう～

2日目 11月15日(土)

NO.	病院・施設名	演題名
L 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの【審査基準B】		
L-1	佐久総合病院	医療センターにおける院外からの紹介検査数の増加
L-2	那覇市立病院	LINEワークスを活用した窓口業務の簡素化について
L-3	中頭病院	活動再開！南4BTSでダイナマイト
L-4	さっぽろ香雪病院	工具箱点検時間をQuick Change ～作業効率を上げよう～
L-5	愛媛県立中央病院	外来化学療法レジメンオーダーの前日までの入力忘れの低減
L-6	東京都立多摩総合医療センター	造影CT検査4,300枠増設への挑戦
M 診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの【審査基準B】		
M-1	益田地域医療センター医師会病院	地域包括ケア病棟での円滑な退院調整のために ～ADL維持改善への取り組み～
M-2	九州病院	症状もコストも漏れなくガッチリ！
M-3	三萩野病院	回復期リハビリテーション病棟のリハビリレクリエーションを充実させよう
M-4	福岡徳洲会病院	急性期病院における排尿ケアチームの立ち上げ
M-5	伊勢赤十字病院	いつまで寝てるの？～大腸手術患者における術後1日目の離床時間拡大への取り組み～
M-6	九州病院	術後患者に対する早期離床システムの再構築
N 診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの／安全の向上をめざすもの【審査基準A】		
N-1	福岡徳洲会病院	コロナ病棟から一般病棟編成後内科病棟の退院支援の底力
N-2	伊勢赤十字病院	管理栄養士の不安軽減に挑む～栄養指導改革大作戦～
N-3	トヨタ記念病院	Makinng supporters ～あなたはひとりじゃない～
N-4	ベルビアノ病院	突破口は連携にあり！ ～リハマネ加算（ハ）取得に向けて～
N-5	飯塚病院	整形外科病棟における術後腓骨神経麻痺を0（ゼロ）にする
O 安全の向上をめざすもの／その他【審査基準B】		
O-1	介護老人保健施設ハーモニー	STOP転倒！大作戦
O-2	市立三次中央病院	アニメーションを使った転倒転落の減少
O-3	仙台医療センター	病棟業務における処置実施入力漏れが削減できる
O-4	介護老人保健施設あんず	訪問リハビリにおける 新規利用問合せ件数 の増加
O-5	岩国市医療センター医師会病院	高齢者避難指示が出た時における訪問・通所利用者のSOSへの早期対応
O-6	那須赤十字病院	お食事見守り隊っ！！ 摂食機能療法を算定しよう
P 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの【審査基準B】		
P-1	明和病院	使用後点検の効率化 ～時間短縮を目指して～
P-2	高岡病院	食待ち・食止めカードとカード用ボードの設置場所の統一
P-3	吉島病院	情報収集の効率化で始業前残業時間の削減
P-4	県立広島病院	ME 機器管理における修理日数の短縮
P-5	日本鋼管福山病院	放射線検査介助の時間短縮 ～自立支援×多職種チームでつくる新しい放射線検査への道～
P-6	島の病院おたに	消毒薬の適正使用

2日目 11月15日(土)

NO.	病院・施設名	演題名
Q 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの【審査基準B】		
Q-1	島の病院おたに	電子カルテ使用方法の見直し ～協力し合い時間を有効活用するために～
Q-2	大阪公立大学医学部附属病院	私たちをお待たせしないので。パート2 患者さまの待ち時間短縮に向けた取り組み
Q-3	明和病院	術前オリエンテーション後の問い合わせ件数を減らそう
Q-4	太田川病院	リハビリ処方箋修正時間の短縮
Q-5	JCHO九州病院	消化器内視鏡検査における拡大観察加算の取得漏れを減少させる取り組み
Q-6	介護付有料老人ホーム ライフケアガーデン熱川	ご家族への報告書作成における業務効率化と時間削減
R 安全の向上をめざすもの／患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの【審査基準A】		
R-1	いわき湯本病院	排泄に起因する転倒転落の改善
R-2	山陰労災病院	時間外のMRI検査、はいよろこんで！
R-3	出雲市民病院	透析患者さんのストレスを軽減しよう！
R-4	益田赤十字病院	精算機の利用率を上げよう
R-5	飯塚病院	外来採血における患者待ち時間の短縮
R-6	大阪市立総合医療センター	小児CT検査を楽しくするタブレット代の構築 ～もっと楽しく、もっと安心に、次世代の小児医療へ～
S 質管理システムの構築をめざすもの【審査基準B】		
S-1	マツダ病院	セントラルモニタの適切な管理～テクニカルアラームの低減～
S-2	伊勢赤十字病院	予約どうでしょう ～患者支援センターにおける飛び込み入院支援の削減～
S-3	阪南市民病院	持参薬鑑別後の薬剤師による処方登録と医師の処方指示の医療DX化への挑戦
S-4	吉島病院	総合機能評価加算件数増加に向けたシステムの改善と意識改革
S-5	泉大津急性期メディカルセンター	体外循環式心肺蘇生法（ECPR）への取り組み
S-6	県立広島病院	ICU入室時SOFAスコア入力における基準日超え割合の低減
T 無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの／ 質管理システムの構築をめざすもの／その他【審査基準B】		
T-1	県立広島病院	看護師長における時間外勤務申請処理時間の低減
T-2	製鉄記念八幡病院	救急外来器材室の物品を取り出しやすくする～検査準備の時間短縮に向けて～
T-3	倉敷中央病院	書類整理で効率化 入院カルテ内の書類バラツキ解消
T-4	小倉記念病院	新風を起こせ ～業務ファイルからの脱却～
T-5	信和会 明和病院	残業減らしてワークライフバランス改善～前残業削減の取り組み～
T-6	JCHO九州病院	循環器内科と中央検査室が共同で行った心電図判読運用の再構築を目指したTQM活動の取り組み
T-7	高岡病院	出退勤管理システムにおけるエラーをなくそう

セッション番号：	A-1	A-2
演題名：	舟渡地域包括支援センターにおける書類仕分けの作業時間短縮	医療相談室における休憩時間不足の改善
施設名：	社会福祉法人 不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋	社会医療法人 製鉄記念八幡病院
チーム名称：	必殺！仕分け人！！	The Medical consultation room
発表者：	草野 多恵	鹽谷 誠
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	1.職場単位の活動
実施期間：	33 週	30 週
活動の場：	4.その他	2.支援部門
メンバー数：	8 人	7 人
活動回数：	18 回	1 回
セッション番号：	A-3	A-4
演題名：	おかえり私物～さよなら制限～	大原栄養科SDGs ～Sさぁ！D団結してGゴミS削減！！～
施設名：	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	一般財団法人 大原記念財団
チーム名称：	DANGEROUS11	大原栄養科SDGs ～Sさぁ！D団結してGゴミS削減！！～
発表者：	大内 俊樹	遠藤 のどか
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動, 4.組織全体で取り組んだ活動	3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)
実施期間：	8 週	66 週
活動の場：	1.診療部門	2.支援部門
メンバー数：	5 人	9 人
活動回数：	1 回	18 回

セッション番号： A-5

演題名： プリナツモマブ療法開始用量における
薬品費の削減

施設名： 成田赤十字病院 成田赤十字病院

チーム名称： チームpalette

発表者： 宮田 幸子

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

活動の種類： 3.テーマに合わせて形成したチームに
よる活動(プロジェクト)

実施期間： 36 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 4 人

活動回数： 1 回

A-6

薬剤科の働き方改革 ～少数精鋭で乗
り切ろう！～

トヨタ自動車(株) トヨタ記念病院

セントラルミキサーズ

石田 萌

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

32 週

2.支援部門

7 人

1 回

セッション番号： A-7

演題名： 地域医療連携室における返書管理業務
の見直し

施設名： 社会医療法人敬愛会 中頭病院

チーム名称： チームカイゼン

発表者： 砂川 芽衣

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 28 週

活動の場： 3.管理部門

メンバー数： 8 人

活動回数： 2 回

セッション番号： B-1

演題名： 入退院センターにおける患者の待ち時間の削減～患者の集中回避を目指して～

施設名： 姫路赤十字病院

チーム名称： みたい！しりたい！Waiting Time！

発表者： 笹野 優子

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 36 週

活動の場： 2.支援部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 2 回

B-2

リハビリテーション科における自主訓練未提供率の低減

医療法人杏園会 熱田リハビリテーション病院

バックセンター

後藤 恭平

1.問題解決型

3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

1.職場単位の活動

30 週

2.支援部門

8 人

1 回

セッション番号： B-3

演題名： 入退院支援センターの業務改善 ～患者を待たせない入院前支援～

施設名： 日本赤十字社 福井赤十字病院

チーム名称： timeless project

発表者： 勝木 美奈子

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動

実施期間： 63 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 2 回

B-4

他院紹介時 他部署との連携をスムーズに行う～共通のツールを活用して～

医療法人球陽会 海邦病院

プチトマト

岸本 梨沙

1.問題解決型

3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

2.複数の職場が連携した活動

21 週

1.診療部門, 3.管理部門

6 人

1 回

セッション番号： B-5

演題名： 老健介護課におけるレクリエーションの実施率の増加

施設名： 医療法人杏園会 介護老人保健施設トリトン

チーム名称： 元気に歳をとりますか！レックゴー！

発表者： 松田 涼平

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 32 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 8 人

活動回数： 1 回

B-6

緊急入院における入院オリエンテーション時間の削減

医療法人社団健育会 石巻健育会病院

サクサクズ

遠藤 千恵

1.問題解決型

3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

28 週

1.診療部門, 2.支援部門

6 人

1 回

セッション番号： B-7

演題名： 腎センターにおける透析待ち時間の短縮

施設名： 社会医療法人 製鉄記念八幡病院

チーム名称： BOB 5

発表者： 鎗水 愛

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

活動の種類： 4.組織全体で取り組んだ活動

実施期間： 60 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 5 人

活動回数： 25 回

セッション番号：	C-1	C-2
演題名：	チーム力向上の取り組み～医事課の働き方改革～	手術室における「ロス材料の低減」にむけて
施設名：	日本赤十字社 福井赤十字病院	社会医療法人敬愛会 中頭病院
チーム名称：	時短バンバンBORN!	ラストサムライ～最後の戦い～
発表者：	西嶋 ルミ	小濱 望
ストーリー：	3.その他	1.問題解決型
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト), 4.組織全体で取り組んだ活動
実施期間：	78 週	60 週
活動の場：	4.その他	1.診療部門
メンバー数：	5 人	7 人
活動回数：	2 回	3 回
セッション番号：	C-3	C-4
演題名：	不安と自信が50-50!?!～オリエンテーションを統一して不安を解消しよう～	電子カルテシステムを活用した業務の効率化
施設名：	社会医療法人 崇徳会 田宮病院	那須赤十字病院
チーム名称：	トラの子海賊団	地域医療連携室QCチーム
発表者：	橋爪 卓	高橋 瑞季
ストーリー：	1.問題解決型	
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)	1.職場単位の活動
実施期間：	30 週	キーワード
活動の場：	2.支援部門	・システム管理
メンバー数：	4 人	・効率化と削減
活動回数：	10 回	・ストレス軽減

セッション番号：	C-5	C-6
演題名：	サマリー作成の負担を減らせ～書くから選ぶへ	システム障害時に外来診療をとめないために
施設名：	医療法人一祐会 藤本病院	武蔵野赤十字病院
チーム名称：	リハース2025	苦しい時の『紙』だのみ
発表者：	阪口 祐	尾高 大輔
ストーリー：	1.問題解決型	
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	1.職場単位の活動
実施期間：	29 週	キーワード
活動の場：	2.支援部門	・多職種協働
メンバー数：	5 人	・病院機能維持
活動回数：	14 回	・システム障害

セッション番号：	D-1	D-2
演題名：	嚥下評価パワー不足（評価が適切にできない）の低減	緩和ケアリハビリテーションの質の向上を図る
施設名：	愛媛県立中央病院	医療法人橘会 東住吉森本病院
チーム名称：	Engeflix	# 休日は出かける派
発表者：	三瀬 和人	辻 知明
ストーリー：	1.問題解決型	2.課題達成型
テーマ分類：	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類：	3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)	1.職場単位の活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)
実施期間：	20 週	31 週
活動の場：	2.支援部門	2.支援部門
メンバー数：	7 人	9 人
活動回数：	5 回	3 回

セッション番号：	D-3	D-4
演題名：	誤嚥予防にむけたポジショニングへの取り組み	外来透析患者における透析中の血圧変動幅の減少
施設名：	公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
チーム名称：	ごっくん嚥下村	Quality Navigators- 透析の質の向上を目指す航海者たち -
発表者：	高見 知沙	安部 茂樹
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類：	3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)	1.職場単位の活動
実施期間：	24 週	33 週
活動の場：	1.診療部門	2.支援部門
メンバー数：	6 人	8 人
活動回数：	1 回	1 回

セッション番号： D-5

演題名： Sustainableハイケアユニット加算

施設名： 社会医療法人生長会 ヘルランド総合病院

チーム名称： ハイケアユニットの新時代

発表者： 中田 年恵
ストーリー： 2.課題達成型
テーマ分類： 5.質管理システムの構築をめざすもの

活動の種類： 4.組織全体で取り組んだ活動

実施期間： 60 週
活動の場： 1.診療部門
メンバー数： 9 人
活動回数： 23 回

D-6

シャントエコーの実践から運用まで
～タスクシフト・シェアに向けて～

公益社団法人益田市医師会立 益田地域医療センター医師会病院

さやえんどうサークル

吉松 千尋
2.課題達成型
1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
1.職場単位の活動

52 週
2.支援部門
11 人
4 回

セッション番号： D-7

演題名： 造影CT検査における血管外漏出低減に向けた取り組み

施設名： 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院

チーム名称： アンメット ～ある画像診断センターの挑戦～

発表者： 古野 麻由美
ストーリー： 1.問題解決型
テーマ分類： 1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 42 週
活動の場： 1.診療部門, 2.支援部門
メンバー数： 9 人
活動回数： 1 回

セッション番号： E-1

演題名： 在宅酸素療法導入における手順の明確化

施設名： 社会医療法人恵和会 西岡病院

チーム名称： HOTステーション

発表者： 相田 泰子

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 28 週

活動の場： 1.診療部門, 2.支援部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 1 回

E-2

入院時間の短縮に向けた取り組み

公益財団法人 豊田地域医療センター

チーム3階病棟

貝原 歩

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

24 週

1.診療部門

3 人

1 回

セッション番号： E-3

演題名： SmartHRを活用した車両管理・登録作業のスリム化

施設名： 社会医療法人敬愛会 中頭病院

チーム名称： スリム倶楽部

発表者： 金城 このは

ストーリー： 3.その他

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 48 週

活動の場： 3.管理部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 6 回

E-4

コスト削減ができる体制を整備しハイケアユニットにおけるコストの削減をする

地方独立行政法人加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

KCCHハイケアーズ

塩谷 英子

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

52 週

1.診療部門

3 人

1 回

セッション番号： E-5

演題名： 書類の不備をなくそう

施設名： 社会医療法人 製鉄記念八幡病院

チーム名称： 入院がんばり隊

発表者： 山根 吏紗

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 44 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 9 人

活動回数： 1 回

E-6

Ecology Reduce Challenge 患者のために 病院のために 地球のために ～ERCから始める無駄紙削減への挑戦～

松江赤十字病院

無駄紙削減隊

服部 映美

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

2.複数の職場が連携した活動

28 週

1.診療部門, 2.支援部門, 3.管理部門

8 人

1 回

セッション番号： E-7

演題名： 業務改善～ムダに気づいた私たち～

施設名： トヨタ自動車(株) トヨタ記念病院

チーム名称： 子どもの未来を応援し隊

発表者： 廣野 葵

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 38 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 1 回

セッション番号：	F-1	F-2
演題名：	病棟循環型貸出システムの改善～輸液ポンプの効率運用・貸出庫のゼロからの脱却～	人事課カウンター革命～窓口業務の効率化～
施設名：	株式会社麻生 飯塚病院	熊本赤十字病院
チーム名称：	sMilE2640	人事課
発表者：	筒井 友美	高田 真衣
ストーリー：		
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	1.職場単位の活動
	キーワード ・病棟保管台数の見直し ・業務負担の軽減 ・資源の有効活用	キーワード ・DX ・利便性の向上 ・経営改善
セッション番号：	F-3	F-4
演題名：	ペーパーレス～紙出力のコスト削減～	そろそろ休憩にしませんか？
施設名：	社会医療法人恵仁会 くろさわ病院	社会医療法人 崇徳会 田宮病院
チーム名称：	紙減隊	ペンギンサークル
発表者：	神津 真也	今井 大輔
ストーリー：		1.問題解決型
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	1.職場単位の活動
実施期間：	キーワード	25 週
活動の場：	・ペーパーレス化	1.診療部門
メンバー数：	・業務効率化	4 人
活動回数：	・時間短縮	1 回

セッション番号： F-5

演題名： 救急医療管理加算の算定基準を明確化しよう！

施設名： 医療法人橘会 東住吉森本病院

チーム名称： 7つのスパイスと3つの隠し味

発表者： 伊藤 祐

ストーリー：

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： キーワード

活動の場： ・救急医療管理加算

メンバー数： ・重症度、医療・看護必要度

活動回数： ・業務改善

F-6

行動制限最小化（身体抑制ゼロを目指す）

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター

こどもの権利守り隊（たい）

小久保 知寿子

1.問題解決型

5.質管理システムの構築をめざすもの

3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

80 週

1.診療部門

10 人

1 回

セッション番号： F-7

演題名： 脳卒中ACPスクリーニング後の介入件数を増やしたい

施設名： 武蔵野赤十字病院

チーム名称： 脳卒中ACP取り組み隊！

発表者： 赤星 春菜

ストーリー：

テーマ分類： 5.質管理システムの構築をめざすもの

活動の種類： 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト), 4.組織全体で取り組んだ活動

実施期間： キーワード

活動の場： ・ACP

メンバー数： ・脳卒中

活動回数： ・急性期病院

セッション番号：	G-1	G-2
演題名：	動画利用で待ち時間の短縮 ～AIで愛のある説明に♡キュンです♡～	Come on デイケア 見学だよ みんな集合！
施設名：	医療法人社団 日本鋼管福山病院	医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院
チーム名称：	スマイルサークル	Re-プロジェクト
発表者：	小平 衿奈	田上 真美
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの	3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	1.職場単位の活動
実施期間：	20 週	33 週
活動の場：	1.診療部門	2.支援部門
メンバー数：	14 人	4 人
活動回数：	15 回	7 回
セッション番号：	G-3	G-4
演題名：	新規獲得大作戦	へき地診療における発熱外来の確立にむけて
施設名：	社会福祉法人悠人会 ベルファミリア	社会医療法人恵仁会 菅平高原クリニック
チーム名称：	F・D challengers	菅平を応援し隊
発表者：	松元 篤	田玉 仁美
ストーリー：	1.問題解決型	2.課題達成型
テーマ分類：	3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの	3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの
活動の種類：	3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)	1.職場単位の活動, 5.その他
実施期間：	22 週	32 週
活動の場：	2.支援部門	1.診療部門
メンバー数：	7 人	6 人
活動回数：	18 回	1 回

セッション番号： G-5

演題名： 小児科患者数あっぱっぴ

施設名： 医療法人盡誠会 宮本病院

チーム名称： Miyamoto.Children

発表者： 菅谷 愛華

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上
をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 48 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 14 人

活動回数： 4 回

G-6

緊急入院における入院要請から入床までの受け入れ時間の低減

地方独立行政法人 広島県立病院機構
県立広島病院

さいきん元気？胃腸乳業

蜂谷 愛美

1.問題解決型

3.患者サービス・患者満足度の向上
をめざすもの

1.職場単位の活動

34 週

1.診療部門

7 人

1 回

セッション番号： G-7

演題名： KAITA ONE PIECE~病床稼働率を上げるために私たちができることは~

施設名： 医療法人博愛会 瀬田病院

チーム名称： KAITA ONE PIECE

発表者： 橋垣 綾子

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上
をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 8 週

活動の場： 1.診療部門, 3.管理部門

メンバー数： 6 人

活動回数： 7 回

セッション番号：	H-1	H-2
演題名：	中央材料室 委託業者の業務を見直したい	在庫管理における在庫切れの未然防止
施設名：	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	愛媛県立中央病院
チーム名称：	THE・中材ナース	Stock Labo
発表者：	藤森 栄	本宮 健太郎
ストーリー：	1.問題解決型	3.その他
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	2.複数の職場が連携した活動	1.職場単位の活動
実施期間：	37 週	18 週
活動の場：	1.診療部門	2.支援部門
メンバー数：	4 人	6 人
活動回数：	1 回	2 回
セッション番号：	H-3	H-4
演題名：	手術前の身長体重測定は必要ですか？ あたりまえをやめましょう	救急室の物品管理を徹底しよう！
施設名：	社会医療法人敬愛会 中頭病院	特定医療法人博愛会 博愛会病院
チーム名称：	WLB（ワークライフバランス）	とまと
発表者：	山内 美和	近藤 里奈
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの	4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類：	3.テーマに合せて形成したチームによる活動(プロジェクト)	1.職場単位の活動
実施期間：	12 週	24 週
活動の場：	1.診療部門	1.診療部門
メンバー数：	3 人	3 人
活動回数：	1 回	1 回

セッション番号： H-5

演題名： 病棟での混合調製件数を80%削減する

施設名： 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

チーム名称： Choco 楽

発表者： 向後 徹生

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 32 週

活動の場： 2.支援部門

メンバー数： 6 人

活動回数： 2 回

H-6

滅菌手袋のムダをなくそう

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター

by my self

佐野 亜弓

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

39 週

1.診療部門

6 人

1 回

セッション番号：	I-1	I-2
演題名：	内視鏡センターにおける「経口腸管洗浄剤」院内服用の削減～安心してスムーズな大腸内視鏡検査を目指して～	肝炎ウイルス検査陽性患者における消化器内科紹介率を向上させよう！
施設名：	姫路赤十字病院	松江赤十字病院
チーム名称：	JRC姫路 大腸快速ひだ	検査部TQMチーム
発表者：	岡田 真理	濱田 まいか
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	2.複数の職場が連携した活動
実施期間：	36 週	56 週
活動の場：	1.診療部門	1.診療部門, 2.支援部門
メンバー数：	5 人	7 人
活動回数：	2 回	1 回
セッション番号：	I-3	I-4
演題名：	迅速な退院調整を行うために	“寝る”だけじゃない！マットレスの効果的な活用
施設名：	医療法人球陽会 海邦病院	公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院
チーム名称：	でこぼこワークス	ガンバROSE
発表者：	川満 慎吾	三浦 望
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	1.職場単位の活動
実施期間：	24 週	24 週
活動の場：	1.診療部門, 4.その他	1.診療部門
メンバー数：	5 人	12 人
活動回数：	3 回	52 回

セッション番号： I-5

演題名： 見直そう！周産期センター内の応援体制

施設名： トヨタ自動車(株) トヨタ記念病院

チーム名称： チーム周産期

発表者： 山中 海愛

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動, 4.組織全体で取り組んだ活動

実施期間： 56 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 9 人

活動回数： 1 回

I-6

新規糖尿病患者の歯周病治療率UPを目指して

社会医療法人水和会 水島中央病院

ひよこ

村井 那々実

1.問題解決型

1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

1.職場単位の活動

124 週

1.診療部門

3 人

13 回

セッション番号：	J-1	J-2
演題名：	再穿刺率0を目指して～エコー下穿刺の活用～	リンパ浮腫ケアファミリー リンパ浮腫ケアの確立と多職種連携体制の構築
施設名：	社会医療法人敬愛会 中頭病院	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
チーム名称：	WINWINウィン	リンパ浮腫ケアファミリー
発表者：	照屋 亜怜	久岡 愛
ストーリー：	2.課題達成型	2.課題達成型
テーマ分類：	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	4.組織全体で取り組んだ活動
実施期間：	36 週	72 週
活動の場：	1.診療部門	1.診療部門
メンバー数：	10 人	13 人
活動回数：	1 回	1 回
セッション番号：	J-3	J-4
演題名：	ポート自己抜針(Pt)が可能なレジメンで、対象患者を選別しポート自己抜針(Pt)導入方法を検討する	A病院B病棟における身体抑制率の低減
施設名：	株式会社麻生 飯塚病院	徳島県立中央病院
チーム名称：	BRUSH UP CHEMO LIFE	抑制やめ隊
発表者：	小島 幸子	田毎 あゆみ
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの	1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動, 4.組織全体で取り組んだ活動	1.職場単位の活動
実施期間：	16 週	20 週
活動の場：	1.診療部門	1.診療部門
メンバー数：	5 人	4 人
活動回数：	1 回	1 回

セッション番号：	K-1	K-2
演題名：	防ごうインシデント《医療安全に対するさらなる意識向上を目指して》	看護助手が挑む！誤認事故を起こさない安全な患者搬送体制の改善活動
施設名：	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	日本赤十字社 福井赤十字病院
チーム名称：	Oの執行人ーそれがお前の真実かー	看護助手パワー
発表者：	戸森 聖治	林 和美
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	2.安全の向上をめざすもの	2.安全の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	2.複数の職場が連携した活動, 4.組織全体で取り組んだ活動
実施期間：	52 週	121 週
活動の場：	2.支援部門	1.診療部門
メンバー数：	6 人	6 人
活動回数：	5 回	3 回
セッション番号：	K-3	K-4
演題名：	プロポフォール開始直後のルート再挿入減少への取り組み～患者に安全・安楽な治療を～	看護師業務における鋭利単回使用物品廃棄忘れの未然防止
施設名：	公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院	愛媛県立中央病院
チーム名称：	事前の確認大事にし隊☆チーム内視鏡♪チーム内視鏡♪	ーMASHLEー 筋肉と魔法で未然防止
発表者：	大谷 真由美	近藤 諒太
ストーリー：	1.問題解決型	3.その他
テーマ分類：	2.安全の向上をめざすもの	2.安全の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	2.複数の職場が連携した活動
実施期間：	4 週	19 週
活動の場：	1.診療部門	1.診療部門
メンバー数：	4 人	5 人
活動回数：	1 回	12 回

セッション番号：	K-5	K-6
演題名：	病棟における誤薬件数の低減に向けた取り組み	君の名は。～患者検体ラベルを貼ろう～
施設名：	熊本赤十字病院	独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター
チーム名称：	誤薬防ぎ隊	名無しO推進委員会
発表者：	山口 莉歩	渡邊 希美
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	2.安全の向上をめざすもの	2.安全の向上をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)	2.複数の職場が連携した活動
実施期間：	27 週	48 週
活動の場：	1.診療部門	2.支援部門
メンバー数：	3 人	7 人
活動回数：	1 回	1 回

セッション番号： L-1

演題名： 医療センターにおける院外からの紹介
検査数の増加

施設名： 長野県厚生農業協同組合連合会 佐久
総合病院

チーム名称： 画像診断装置共同利用推進部門

発表者： 中村 聡志

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動, 2.複数の職場が連
携した活動

実施期間： 35 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 2 人

活動回数： 2 回

L-2

LINEワークスを活用した窓口業務の
簡素化について

地方独立行政法人 那覇市立病院

地域医療連携室

高良 沙知

4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

キーワード

・ 地域医療連携室

・ LINE

・ 電話対応

セッション番号： L-3

演題名： 活動再開！南4BTSでダイナマイト

施設名： 社会医療法人敬愛会 中頭病院

チーム名称： 活動再開！南4BTSでダイナマイト
★

発表者： 増田 房子

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 28 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 8 人

活動回数： 1 回

L-4

工具箱点検時間をQuick Change ～
作業効率を上げよう～

医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病
院

KANRIKA -1.0

西本 憲浩

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

33 週

3.管理部門

4 人

5 回

セッション番号： L-5

演題名： 外来化学療法レジメンオーダーの前日
までの入力忘れの低減

施設名： 愛媛県立中央病院

チーム名称： チーム・後工程はお客様！

発表者： 名和 由一郎

ストーリー：

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動

実施期間： キーワード

活動の場： ・医師のレジメンオーダー忘れ

メンバー数： ・後工程への影響

活動回数： ・RPA

L-6

造影CT検査4,300枠増設への挑戦

地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立多摩総合医療センター

経営貢献し隊

山崎 泰志

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境
の改善をめざすもの

4.組織全体で取り組んだ活動

26 週

1.診療部門

15 人

1 回

セッション番号： M-1

演題名： 地域包括ケア病棟での円滑な退院調整のために ～ADL維持改善への取り組み～

施設名： 公益社団法人益田市医師会立 益田地域医療センター医師会病院

チーム名称： いちごサークル

発表者： 小松 珠理
ストーリー： 2.課題達成型
テーマ分類： 1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動

実施期間： 44 週
活動の場： 2.支援部門
メンバー数： 20 人
活動回数： 44 回

M-2

症状もコストも漏れなくガッチリ！

独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院

症状もコストも漏れなくガッチリ！

近藤 恵子
1.問題解決型
1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

56 週
1.診療部門, 3.管理部門
22 人
1 回

セッション番号： M-3

演題名： 回復期リハビリテーション病棟のリハビリレクリエーションを充実させよう

施設名： 公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院

チーム名称： 甘栗太郎

発表者： 萩野 美亜
ストーリー： 1.問題解決型
テーマ分類： 1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
活動の種類： 5.その他

実施期間： 40 週
活動の場： 1.診療部門
メンバー数： 12 人
活動回数： 65 回

M-4

急性期病院における排尿ケアチームの立ち上げ

医療法人 福岡徳洲会病院

排尿ケアチーム

小畠 麻記子
2.課題達成型
1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの
2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

48 週
1.診療部門
7 人
1 回

セッション番号： M-5

演題名： いつまで寝てるの？～大腸手術患者に対する術後1日目の離床時間拡大への取り組み～

施設名： 伊勢赤十字病院

チーム名称： 白るり姫と7人の小人たち

発表者： 古野 真未

ストーリー： 2.課題達成型

テーマ分類： 1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動, 2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 40 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 8 人

活動回数： 1 回

M-6

術後患者に対する早期離床システムの再構築

独立行政法人地域医療機能推進機構
九州病院

続・離床のその先へ

鶴川 麻衣

1.問題解決型

1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

36 週

1.診療部門

6 人

2 回

セッション番号： N-1

演題名： コロナ病棟から一般病棟編成後内科病棟の退院支援の底力

施設名： 医療法人 福岡徳洲会病院

チーム名称： 内科病棟活性化プロジェクト

発表者： 永藤 遼

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

活動の種類： 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 52 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 6 人

活動回数： 1 回

N-2

管理栄養士の不安軽減に挑む～栄養指導改革大作戦～

伊勢赤十字病院

新プロジェクトE

山本 まどか

1.問題解決型

1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

1.職場単位の活動

34 週

2.支援部門

4 人

1 回

セッション番号： N-3

演題名： Making supporters ～あなたはひとりじゃない～

施設名： トヨタ自動車(株) トヨタ記念病院

チーム名称： Colon colon サークル

発表者： 高崎 みなみ

ストーリー： 3.その他

テーマ分類： 2.安全の向上をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 28 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 1 回

N-4

突破口は連携にあり！ ～リハマネ加算（ハ）取得に向けて～

社会医療法人生長会 ベルピアノ病院

多職種連携チャレンジ隊

中塚 佳歩

1.問題解決型

1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

23 週

4.その他

10 人

9 回

セッション番号： N-5

演題名： 整形外科病棟における術後腓骨神経麻痺を0（ゼロ）にする

施設名： 株式会社麻生 飯塚病院

チーム名称： チームコツコツ〜ダメ、ゼッタイ。腓骨神経麻痺〜

発表者： 石橋 幹太

ストーリー：

テーマ分類： 1.診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： キーワード

活動の場： ・腓骨神経麻痺

メンバー数： ・クラスルーム

活動回数： ・DX推進

セッション番号：	O-1	O-2
演題名：	STOP転倒！大作戦	アニメーションを使った転倒転落の減少
施設名：	医療法人一祐会 介護老人保健施設 ハーモニー	三次市 市立三次中央病院
チーム名称：	チームハーモニー	おきあがりこぼし
発表者：	松本 高明	児玉 英之
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	2.安全の向上をめざすもの	2.安全の向上をめざすもの
活動の種類：	4.組織全体で取り組んだ活動	1.職場単位の活動
実施期間：	36 週	24 週
活動の場：	4.その他	1.診療部門
メンバー数：	6 人	6 人
活動回数：	4 回	10 回
セッション番号：	O-3	O-4
演題名：	病棟業務における処置実施入力漏れが削減できる	訪問リハビリにおける 新規利用問合せ件数 の増加
施設名：	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	医療法人杏園会 介護老人保健施設あんず
チーム名称：	処置の取り忘れをなくし隊	出前一丁
発表者：	土生 鈴花	桑田 康行
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	6.上記以外	6.上記以外
活動の種類：	1.職場単位の活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)	1.職場単位の活動
実施期間：	35 週	35 週
活動の場：	1.診療部門	2.支援部門
メンバー数：	5 人	3 人
活動回数：	1 回	10 回

セッション番号： O-5

演題名： 高齢者避難指示が出た時における訪問・通所利用者のSOSへの早期対応

施設名： 一般社団法人岩国市医師会 岩国市医療センター医師会病院

チーム名称： つなぎ隊

発表者： 森尾 卓哉

ストーリー： 3.その他

テーマ分類： 2.安全の向上をめざすもの

活動の種類： 4.組織全体で取り組んだ活動

実施期間： 22 週

活動の場： 3.管理部門, 4.その他

メンバー数： 7 人

活動回数： 19 回

O-6

お食事見守り隊っ！！ 摂食機能療法を算定しよう

那須赤十字病院

お食事介助見守り隊っ！！

高木 麻衣

1.問題解決型

6.上記以外

2.複数の職場が連携した活動

4 週

2.支援部門

3 人

1 回

セッション番号： P-1

演題名： 使用後点検の効率化 ～時間短縮を目指して～

施設名： 医療法人 信和会 明和病院

チーム名称： SIT (SHORTENING INSPECTION TIME)

発表者： 玉岡 大輔

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 24 週

活動の場： 2.支援部門

メンバー数： 3 人

活動回数： 3 回

P-2

食待ち・食止めカードとカード用ボードの設置場所の統一

厚生連 高岡病院

かたかごサークル

竹下 聡美

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

2.複数の職場が連携した活動

36 週

1.診療部門

7 人

1 回

セッション番号： P-3

演題名： 情報収集の効率化で始業前残業時間の削減

施設名： 国家公務員共済組合連合会 吉島病院

チーム名称： 始業前残業なくし隊

発表者： 吉川 香奈

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 48 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 6 人

活動回数： 1 回

P-4

ME 機器管理における修理日数の短縮

地方独立行政法人 広島県立病院機構
県立広島病院

HELP ME

小林 あさみ

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

35 週

3.管理部門

5 人

1 回

セッション番号： P-5

演題名： 放射線検査介助の時間短縮 ～自立支援×多職種チームでつくる新しい放射線検査への道～

施設名： 医療法人社団 日本鋼管福山病院

チーム名称： オレンジサークル

発表者： 林 亜矢子

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動

実施期間： 50 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 2 人

活動回数： 5 回

P-6

消毒薬の適正使用

医療法人社団大谷会 島の病院おおたに

消毒太子

小田 譲嗣

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

1.職場単位の活動

16 週

1.診療部門

4 人

8 回

セッション番号： Q-1

演題名： 電子カルテ使用方法の見直し ～協力し合い時間を有効活用するために～

施設名： 医療法人社団大谷会 島の病院おたに

チーム名称： 協力し合い隊

発表者： 松浦 聡子
 ストーリー： 1.問題解決型
 テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
 活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 25 週
 活動の場： 1.診療部門
 メンバー数： 4 人
 活動回数： 10 回

Q-2

私たちお待たせしないので。パート2
 患者さまの待ち時間短縮に向けた取り組み

公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院

私たちお待たせしないので。パート2

小寺 里奈
 1.問題解決型
 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
 1.職場単位の活動

40 週
 1.診療部門
 2 人
 1 回

セッション番号： Q-3

演題名： 術前オリエンテーション後の問い合わせ件数を減らそう

施設名： 医療法人 信和会 明和病院

チーム名称： eye eye サークル

発表者： 梅崎 麻子
 ストーリー： 1.問題解決型
 テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの
 活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 56 週
 活動の場： 1.診療部門
 メンバー数： 6 人
 活動回数： 11 回

Q-4

リハビリ処方箋修正時間の短縮

医療法人社団輔仁会 太田川病院

時間がかかるの なあぜなあぜ？

山本 怜奈
 1.問題解決型
 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
 1.職場単位の活動

38 週
 2.支援部門
 6 人
 1 回

セッション番号： Q-5

演題名： 消化器内視鏡検査における拡大観察加算の取得漏れを減少させる取り組み

施設名： 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院

チーム名称： 内視鏡室の知らない世界

発表者： 長富 有樹

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 35 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 6 人

活動回数： 4 回

Q-6

ご家族への報告書作成における業務効率化と時間削減

医療法人社団健育会 介護付有料老人ホームライフケアガーデン熱川

AIのメモリー

石居 孝幸

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

20 週

2.支援部門, 3.管理部門

9 人

1 回

セッション番号： R-1

演題名： 排泄に起因する転倒転落の改善

施設名： 医療法人常磐会（健育会G） いわき湯本病院

チーム名称： 転倒を防ぎ隊

発表者： 鈴木 智美

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 2.安全の向上をめざすもの

活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動

実施期間： 36 週

活動の場： 1.診療部門, 2.支援部門, 3.管理部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 1 回

R-2

時間外のMRI検査、はいよろこんで！

独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院

はいよろこんで

水谷 慎吾

2.安全の向上をめざすもの

1.職場単位の活動

キーワード

- ・MRI対応体内デバイス
- ・時間外対応
- ・安全管理・周知体制

セッション番号： R-3

演題名： 透析患者さんのストレスを軽減しよう！

施設名： 出雲医療生活協同組合 出雲市民病院

チーム名称： ゆうじの部屋

発表者： 五百川 紘世

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 32 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 6 人

活動回数： 3 回

R-4

精算機の利用率を上げよう

益田赤十字病院

¥ー

八川 真奈

1.問題解決型

3.患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの

1.職場単位の活動

30 週

3.管理部門

4 人

1 回

セッション番号：	R-5	R-6
演題名：	外来採血における患者待ち時間の短縮	小児CT検査を楽しくするタブレット代の構築 ～もっと楽しく、もっと安心に、次世代の小児医療へ～
施設名：	株式会社麻生 飯塚病院	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
チーム名称：	WBC (Waiting Buster's Circle) -諦めるのをやめましょう-	Train CT
発表者：	濱本 将司	福井 貴之
ストーリー：		
テーマ分類：	3.患者サービス・患者満足度の向上 をめざすもの	3.患者サービス・患者満足度の向上 をめざすもの
活動の種類：	1.職場単位の活動	1.職場単位の活動, 4.組織全体で取り組んだ活動
	キーワード ・採血所要時間の把握 ・効率的かつ臨機応変なブース運用 ・患者待ち時間の短縮	キーワード ・小児 ・タブレット ・CT検査

セッション番号：	S-1	S-2
演題名：	セントラルモニタの適切な管理～テクニカルアラームの低減～	予約どうでしょう ～患者支援センターにおける飛び込み入院支援の削減～
施設名：	マツダ株式会社 マツダ病院	伊勢赤十字病院
チーム名称：	アラーム減らし隊	Sunny Supporters
発表者：	中川 莉沙	濱口 さつき
ストーリー：	1.問題解決型	1.問題解決型
テーマ分類：	5.質管理システムの構築をめざすもの	5.質管理システムの構築をめざすもの
活動の種類：	2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合せて形成したチームによる活動(プロジェクト), 4.組織全体で取り組んだ活動	2.複数の職場が連携した活動
実施期間：	36 週	32 週
活動の場：	1.診療部門	1.診療部門
メンバー数：	5 人	7 人
活動回数：	1 回	1 回
セッション番号：	S-3	S-4
演題名：	持参薬鑑別後の薬剤師による処方登録と医師の処方指示の医療DX化への挑戦	総合機能評価加算件数増加に向けたシステムの改善と意識改革
施設名：	社会医療法人生長会 阪南市民病院	国家公務員共済組合連合会 吉島病院
チーム名称：	みんな仲良し薬剤部	チームイノベーション
発表者：	林 将平	市川 琢磨
ストーリー：	2.課題達成型	1.問題解決型
テーマ分類：	5.質管理システムの構築をめざすもの	5.質管理システムの構築をめざすもの
活動の種類：	2.複数の職場が連携した活動	1.職場単位の活動
実施期間：	19 週	50 週
活動の場：	2.支援部門	1.診療部門, 4.その他
メンバー数：	8 人	4 人
活動回数：	20 回	1 回

セッション番号： S-5

演題名： 当院における体外循環式心肺蘇生法
(ECPR) 開始までの時間短縮

施設名： 社会医療法人生長会 泉大津急性期メ
ディカルセンター

チーム名称： HEART ドクター2

発表者： 小柴 奈央子

ストーリー： 2.課題達成型

テーマ分類： 5.質管理システムの構築をめざすも
の

活動の種類： 2.複数の職場が連携した活動

実施期間： 24 週

活動の場： 1.診療部門, 2.支援部門

メンバー数： 14 人

活動回数： 1 回

S-6

ICU入室時SOFAスコア入力における
基準日超え割合の低減

地方独立行政法人 広島県立病院機構
県立広島病院

はんどくりーむ

石橋 剛

1.問題解決型

5.質管理システムの構築をめざすも
の

2.複数の職場が連携した活動

49 週

3.管理部門

5 人

2 回

セッション番号： T-1

演題名： 看護師長における時間外勤務申請処理時間の低減

施設名： 地方独立行政法人 広島県立病院機構
県立広島病院

チーム名称： 宇品神田囃子 花笑みの里

発表者： 住吉 史子
ストーリー： 1.問題解決型
テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類： 4.組織全体で取り組んだ活動

実施期間： 26 週
活動の場： 3.管理部門
メンバー数： 5 人
活動回数： 1 回

T-2

救急外来器材室の物品を取り出しやすくする～検査準備の時間短縮に向けて～

社会医療法人 製鉄記念八幡病院

EeeeeR

菊竹 弘美
1.問題解決型
4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
1.職場単位の活動

25 週
1.診療部門
3 人
1 回

セッション番号： T-3

演題名： 書類整理で効率化 入院カルテ内の書類バラツキ解消

施設名： 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

チーム名称： New in sisters リターンズ

発表者： 村上 瑠璃
ストーリー： 1.問題解決型
テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
活動の種類： 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 42 週
活動の場： 1.診療部門, 3.管理部門
メンバー数： 7 人
活動回数： 1 回

T-4

新風を起こせ ～業務ファイルからの脱却～

財団法人平成紫川会 小倉記念病院

おしごと向上委員会

西村 友希
1.問題解決型
4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの
1.職場単位の活動

28 週
1.診療部門
5 人
1 回

セッション番号： T-5

演題名： 残業減らしてワークライフバランス改善～前残業削減の取り組み～

施設名： 医療法人 信和会 明和病院

チーム名称： NO残業

発表者： 谷口 桃華

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

実施期間： 24 週

活動の場： 1.診療部門

メンバー数： 14 人

活動回数： 5 回

T-6

循環器内科と中央検査室が共同で行った心電図判読運用の再構築を目指したTQM活動の取り組み

独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院

新時代～心電図至急判読～

宗 麻衣

1.問題解決型

4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

1.職場単位の活動, 2.複数の職場が連携した活動, 3.テーマに合わせて形成したチームによる活動(プロジェクト)

30 週

1.診療部門, 2.支援部門

10 人

2 回

セッション番号： T-7

演題名： 出退勤管理システムにおけるエラーをなくそう

施設名： 厚生連 高岡病院

チーム名称： ReHa POST

発表者： 河井 恵介

ストーリー： 1.問題解決型

テーマ分類： 4.無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの

活動の種類： 1.職場単位の活動

実施期間： 40 週

活動の場： 2.支援部門

メンバー数： 7 人

活動回数： 10 回

ランチョンセミナー

ランチョンセミナーⅠ

心理的安全性

～カイゼンとアンゼンとチームのパフォーマンス～

山口 悦子

国際医療福祉大学大学院・医学部 医療の質・安全学 教授

共催：独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院

よりよい質の医療を患者さんやご家族にお届けするための活動が、カイゼンです。
カイゼンの手法は知っているけれど、チームで創造的に、楽しく、効果的に活動するにはどうしたらよいか、悩んでいるリーダーも多いのでは？
実はその答え、「心理的安全性」にあるんです。
本セミナーで、効果的な改善チームに必要な「心理的安全性」について、体験しながら一緒に楽しく学びましょう。

ランチョンセミナーⅡ

患者本位の医療の質改善役立つDXの取り組み

～RPA、チャットボット、AI等の活用を中心に～

野間 充

日本電気株式会社 社会公共ソリューション事業部門
医療ソリューション統括部 シニアプロフェッショナル

共催：日本電気 株式会社

少子高齢化による働き手不足、働き方改革による時間短縮、そして物価高騰に加えて人件費の上昇で医療経営はとても厳しい状況にあります。このような厳しい状況下でも黒字経営を維持するとともに医療の質を向上させる取り組みも行われています。今回は、年間1万時間以上の作業を行うことで限られた職員の時間を有効に使うことができるいわゆるソフトウェアロボットとも呼ばれるRPA（Robotic Process Automation）の導入と活用の実践的ポイントをお話しします。また、ChatGPTでも有名になったチャットボットもAI搭載で準備の業務負担を軽減しながら有効に使えるようになっている事や生成AIとその進化形であるAIエージェントなどの現状とこれからについてお話しする予定です。

国策としての医療DXの取り組みと共にユーザーが進める取り組みやベンダーとしてのNECの取り組みをご紹介しますことで医療現場の改善活動に繋がることを期待しています。

第27回フォーラム「医療の改善活動」
全国大会in島根 開催に向けて
～One for All, All for One – 垣根のない協働～

第27回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in島根
大会長 小阪 真二
(島根県立中央病院 病院長)

この度、一般社団法人医療のTQM 推進協議会より第27 回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in 島根の大会長を仰せつかり、2026 年12月11日（金）、12 日（土）に松江市のくにびきメッセにおいて開催させていただくことになりました。

私たちは医療現場において、患者さんに質の高い医療を提供することを目的として医療の改善活動に取り組んでいます。近年、医療経営の厳しが増し、患者さんに提供する医療の質を上げるための様々な活動に利用できる原資の余裕もなくなってきた状況です。しかし、そのような中でも、患者さんにより良い医療を提供するために、将来にわたって医療の質を向上させていく必要があると考えています。

今回のテーマとさせていただいた「One for All, All for One」はラグビーでよく使われる言葉です。「一人はみんなのために、そしてみんなは一つの目的（勝利）のために」という意味です。多職種が参加する医療では、それら職種の特性、独自の考え方もあります。しかし、「それはできません」「それは私たちの仕事ではありません」と言っては、チーム医療は成り立ちません。地域においても同様です。それぞれの医療機関が「助け合って地域完結型医療で患者さんを支える」という一つの目的のために協働していく必要があると思います。

特別講演は、松江ゆかりの人物である小泉八雲の曾孫にあたる小泉八雲記念館館長 小泉凡先生 をお願いしています。今よりはるかに文化的相違のあった中、外国人であった小泉八雲が、短い期間のうちに松江でどのように障壁を乗り越え、松江の人々からヘルンさんと呼ばれて親しまれるようになったのか、講演を通じて、文化の垣根を超えるヒントが得られればと考えています。

島根県には、開催地松江市の国宝松江城をはじめ、出雲大社など様々な観光名所があります。宍道湖畔の松江しんじ湖温泉、少し足をのばせば三名泉に数えられる玉造温泉があります。シジミをはじめとする宍道湖七珍、山陰の冬の味覚ノドグロなども楽しめる時期かと思います。是非多くの皆様にお越しいただき、活発な活動発表とともに、島根県を満喫していただきたいと思います。

1年後となりますが、2026年島根県での開催、どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人医療のTQM推進協議会

「医療の改善活動ネットワーク」への入会のご案内

医療のTQM推進協議会は以下のような経緯で設立されました。患者本位の医療の質を確立するために、日本的品質管理の考え方と方法論（TQM;総合的質管理/質経営）が有効と考える病院と研究者が協力して、1997年から2回にわたって医療の改善活動をテーマとする全国ワークショップを開催し、それぞれ200名を超える関係者が参集し、熱心な討論が行われました。

当時、製造業等の企業では熱意をもって取り組まれていたQCサークル活動でしたが、病院においては一部の先駆的な病院で行われていただけで、当時の医療界ではほとんど認知されておらず、交流の機会もなかったため、参加病院からぜひこのような交流機会を続けてほしいとの多くの要望が寄せられ、その推進母体として、1999年1月に任意団体としての「医療のTQM推進協議会」を設立いたしました。協議会では、「患者にとって何がよい医療なのか、それを実現するには、病院は、そして各部門や職種は何をしたらよいのかを考えよう、そして足りない点を改善しよう」という課題に向かって取り組み、毎年1回の「フォーラム医療の改善活動・全国大会」を柱に、研修活動、出版活動等を続けてまいりました。

協議会設立から10年が経過した2009年頃には、医療界を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。医療事故の多発や経営環境が厳しさを増すなど、病院における改善活動の重要性はますます高まっていく中で、改善活動の普及と組織的な質管理への発展を推進するためには、研修事業の充実と事業展開が可能な組織態勢の確立が喫緊の課題となっていました。おりから、法人に関する法改正にともなって2008年から任意団体の法人化が促進されるようになり、法人化を契機として、本会の使命を実現するためにより発展的な事業展開を可能にする新しい組織作りを志向できないかと考え、検討を重ねて、2010年9月、「一般社団法人医療のTQM推進協議会」として設立認可を得ました。

協議会としては、法人化を契機として、フォーラムの開催と研修事業の積極的な展開を二本柱として、1 医療の品質管理を普及させる推進拠点となること、2 自立発展的、継続的、戦略的な事業展開を可能にする財務基盤・組織基盤を確立することを目指した活動を展開し、産業界における「日科技連」、米国医療界において「IHI」が果たしてきた役割を果たせないかと願っています。

一般社団法人医療のTQM推進協議会

一般社団法人 医療のTQM推進協議会
医療の改善活動ネットワーク
入 会 申 込 書

20 年 月 日

一般社団法人 医療のTQM推進協議会

理事長 安藤 廣美 様

一般社団法人 医療のTQM推進協議会の目的に賛同し、入会を申し込みます。

希望する会員種別 (○で囲んでください)	施 設 会 員 ・ 個 人 会 員 ・ 賛 助 会 員
① 施設名	
② 施設住所	〒
③ 代表者 役職	
④ 代表者 氏名	ふりがな (印)
⑤ 事務担当者 役職・氏名	
⑥ 事務担当者 連絡先	TEL : E-mail :

※ 下記事務局宛にメールにてご提出ください。

※ 個人会員の方は、⑤に記入いただく必要はありません。



一般社団法人 医療のTQM推進協議会

事務局：医療法人宝生会 PL 病院 QC 事務局

〒584-8585 大阪府富田林市大字新堂 2204 番地

TEL：0721-24-3100（代表）

E-mail：secretariat@tqmh.net

一般社団法人 医療のTQM推進協議会「医療の改善活動ネットワーク」施設会員（都道府県別）

都道府県	法人＋施設名
北海道	医療法人 喬成会
北海道	社会医療法人 恵和会
北海道	社会医療法人 母恋 日鋼記念病院
北海道	独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター
北海道	さっぽろ香雪病院
北海道	砂川市立病院
青森県	青森市民病院
青森県	八戸市立市民病院
岩手県	独立行政法人 国立病院機構 盛岡医療センター
宮城県	医療法人 永仁会 永仁会病院
宮城県	医療法人 社団 健育会 介護老人保健施設しおん
宮城県	東北医科薬科大学病院
宮城県	医療法人 社団 健育会 石巻健育会病院
宮城県	独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター
宮城県	医療法人 社団 健育会 ひまわり在宅サポートグループ
山形県	一般財団法人 三友堂病院
福島県	医療法人 常磐会 いわき湯本病院
福島県	社会医療法人 秀公会
福島県	一般財団法人 大原記念財団
茨城県	医療法人 盡誠会 宮本病院
栃木県	栃木県済生会 宇都宮病院
栃木県	那須赤十字病院
埼玉県	医療法人 埼玉成恵会病院
埼玉県	草加市立病院
埼玉県	埼玉県立小児医療センター
千葉県	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院
千葉県	成田赤十字病院
千葉県	医療法人 財団 松園会 東葛クリニック病院
東京都	医療法人 社団 永生会 永生病院
東京都	医療法人 財団 利定会 大久野病院
東京都	武蔵野赤十字病院
東京都	公益財団法人 東京保健協会 練馬総合病院
東京都	医療法人 社団 健育会 竹川病院
東京都	東京かつしか赤十字母子医療センター
東京都	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター
東京都	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター
東京都	公益財団法人 日産厚生会 玉川病院
東京都	医療法人 社団 健育会 ねりま健育会病院
東京都	医療法人 社団 健育会 石川島記念病院
東京都	医療法人 社団 健育会 ケアセンターけやき
神奈川県	医療法人 社団 博幸会 相模ヶ丘病院
神奈川県	医療法人 社団 茅ヶ崎セントラルクリニック
神奈川県	株式会社 ヘルスケアシステムズ ライフケアガーデン湘南
神奈川県	医療法人 社団 健育会 湘南慶育病院
新潟県	医療法人 崇徳会 田宮病院
富山県	市立砺波総合病院
富山県	富山市立富山市民病院

都道府県	法人＋施設名
富山県	厚生連高岡病院
富山県	富山赤十字病院
富山県	南砺市民病院
石川県	医療法人 社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院
福井県	福井循環器病院
福井県	福井赤十字病院
長野県	社会医療法人 恵仁会
長野県	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院
岐阜県	岐阜赤十字病院
岐阜県	特定医療法人 博愛会
岐阜県	社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院
岐阜県	医療法人 白楊会
静岡県	医療法人 社団 健育会 西伊豆健育会病院
静岡県	医療法人 社団 健育会 熱川温泉病院
愛知県	医療法人 杏園会
愛知県	トヨタ自動車株式会社 トヨタ記念病院
愛知県	公益財団法人 豊田地域医療センター
愛知県	社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院
三重県	伊勢赤十字病院
三重県	地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
京都府	社会福祉法人 京都社会福祉事業財団 京都桂病院
大阪府	箕面市立病院
大阪府	医療法人 宝生会 P.L.病院
大阪府	バナソニック健康保険組合 松下記念病院
大阪府	社会医療法人 愛仁会
大阪府	市立ひらかた病院
大阪府	大阪公立大学医学部附属病院
大阪府	社会医療法人 真美会 中野こども病院
大阪府	社会医療法人 人生長会
大阪府	医療法人 橘会 東住吉森本病院
大阪府	医療法人 一祐会 藤本病院
大阪府	医療法人 大植会 葛城病院
大阪府	淀川勤労者厚生協会 西淀病院
大阪府	大阪赤十字病院
大阪府	医療法人 良秀会 高石藤井病院
兵庫県	地方独立行政法人 明石市立市民病院
兵庫県	医療法人 明倫会 宮地病院
兵庫県	医療法人 明和病院
兵庫県	姫路赤十字病院
兵庫県	医療法人 沖縄徳洲会 高砂西部病院
兵庫県	地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院
和歌山県	橋本市立病院
滋賀県	大津赤十字病院
滋賀県	長浜赤十字病院
鳥取県	独立行政法人 労働者健康安全機構 山陰労災病院
島根県	公益社団法人 益田市医師会 立 益田地域医療センター 医師会病院
島根県	益田赤十字病院

一般社団法人 医療のTQM推進協議会「医療の改善活動ネットワーク」施設会員（都道府県別）

都道府県	法人＋施設名
島根県	松江赤十字病院
島根県	社会医療法人石州会
島根県	出雲市民病院
島根県	島根県立中央病院
岡山県	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山県	社会医療法人水和我 水島中央病院
岡山県	医療法人竜操整形 竜操整形外科病院
広島県	医療法人エムエム会 マッターホルンリハビリテーション病院
広島県	医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院
広島県	市立三次中央病院
広島県	医療法人社団 日本鋼管福山病院
広島県	医療法人社団大谷会 島の病院おたに
広島県	国家公務員共済組合連合会 古島病院
広島県	マツダ株式会社 マツダ病院
広島県	県立広島病院
広島県	広島市立広島市民病院
広島県	社会医療法人社団陽正会 寺岡記念病院
広島県	社会医療法人清風会
広島県	広島医療生活協同組合 広島共立病院
広島県	医療法人ハートフル
広島県	広島市立北部医療センター安佐市民病院
広島県	医療法人社団輔仁会 太田川病院
広島県	国家公務員共済組合連合会 広島記念病院
山口県	岩国市医療センター医師会病院
徳島県	徳島県立中央病院
愛媛県	愛媛県立中央病院
愛媛県	社会医療法人石川記念会 HITO病院
愛媛県	医療法人沖縄徳洲会 宇和島徳洲会病院
愛媛県	愛媛医療生活協同組合 愛媛生協病院
香川県	香川県立中央病院
福岡県	医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院
福岡県	独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院
福岡県	株式会社麻生 飯塚病院
福岡県	公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院
福岡県	社会医療法人 製鉄記念八幡病院
福岡県	社会保険田川病院
福岡県	医療法人博愛会 頼田病院
熊本県	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
熊本県	熊本赤十字病院
鹿児島県	公益社団法人 出水郡医療会広域医療センター
鹿児島県	公益財団法人慈愛会 谷山病院
沖縄県	医療法人球陽会 海邦病院
沖縄県	社会医療法人仁愛会
沖縄県	社会医療法人敬愛会 中頭病院
沖縄県	地方独立行政法人 那覇市立病院

施設会員数 139

第26回フォーラム後援・協賛一覧

第26回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in北九州の開催にあたり、以下団体様企業様からご後援・協賛を頂戴いたしました。ここに明記し、その厚情に深謝いたします。

第26回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 北九州
大会長 内山 明彦
(独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 院長)

後 援 一 覧

一般社団法人 日本病院会	公益社団法人 日本医師会
公益社団法人 日本看護協会	公益社団法人 日本薬剤師会
公益社団法人 日本診療放射線技師会	一般社団法人 日本作業療法士協会
公益社団法人 日本理学療法士協会	一般財団法人 日本科学技術連盟
公益財団法人 日本医療機能評価機構	一般社団法人 日本品質管理学会
一般社団法人 医療の質・安全学会	公益社団法人 全国自治体病院協議会
一般社団法人 福岡県病院協会	公益社団法人 福岡県歯科医師会
公益社団法人 福岡県看護協会	一般社団法人 福岡県病院薬剤師会
公益社団法人 福岡県診療放射線技師会	一般社団法人 福岡県臨床検査技師会
一般社団法人 福岡県作業療法協会	公益社団法人 福岡県理学療法士会
一般社団法人 福岡県臨床工学技士会	公益社団法人 福岡県栄養士会
一般社団法人 福岡県社会福祉士会	
公益社団法人 北九州市医師会	公益社団法人 北九州市八幡医師会
北九州市	
公益財団法人 北九州観光コンベンション協会	

協賛者名一覧

【共催セミナー】

日本電気株式会社
地域医療機能推進機構 九州病院

【企業展示】

SCSK株式会社
株式会社イシダ
東和薬品株式会社
ユニ・チャーム株式会社
株式会社理舎
ワタキューセイモア株式会社

【誌面広告】

H. Uフロンティア株式会社
株式会社奥村組
株式会社クラフティア
株式会社ジェイ・エム・エス
株式会社システック井上
シンバイオ製薬株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
第一三共株式会社
株式会社トーショー
日本電子応用株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社

【寄付】

アイティーアイ株式会社
株式会社アステム
九州風雲堂販売株式会社
株式会社キシヤ
ジェイバック
正晃株式会社
株式会社ツムラ
株式会社リモハブ

第26回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 北九州 抄 録 集

発 行：一般社団法人 医療のTQM推進協議会

大会事務局：独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
〒806-8501 福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1
TEL：093-641-5111（代）

運営事務局：株式会社 インターグループ 名古屋支社
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-38-2
オーキッドビル8F
TEL：052-581-3241

Healthcare for You

私たちエスアールエルは、
医療機関から預かる、
患者さまの検体を通して、
いのちの未来を見つめています。



「H.U. フロンティア株式会社」は、エスアールエル、富士レボ、日本ステリの
営業機能をひとつに統合した、H.U. グループの営業統合会社です。



キュアセンス® 輸液ポンプ IP-100

販売名：キュアセンス輸液ポンプ IP-100
医療機器承認番号：30100BZX00139000



タッチパネルによるスムーズな操作

4.3インチのカラー液晶タッチパネルディスプレイを採用。指先でディスプレイに触れるだけのシンプルな操作性と優れた視認性を実現しています。



小型・軽量設計

JMS輸液ポンプOT-8シリーズと比較して、重量を約4割、容積を約3割削減し、臨床現場での扱いやすさを追求しました。



無線LAN機能

PC専用ソフトウェアと連携することで、ポンプの動作状況を遠隔で確認が可能です。ポンプの動作履歴取得や設定値管理、時刻設定が可能となり、効率的な管理をサポートします。



JYモード

JMSの汎用輸液セット(JYシリーズ)を用いて、回転数制御で輸液を行うJYモードを搭載しています。

より詳細な情報をキュアセンス輸液ポンプ IP-100 専用ホームページでご覧いただけます。右のQRコードを読み取りアクセスしてください。



販売業者 株式会社 ジェイ・エム・エス
東京都港区芝浦 1-2-1

製造販売業者 株式会社 メテック
埼玉県川越市芳野台一丁目103番地66

●キュアセンス、CURESENSEは株式会社ジェイ・エム・エスの登録商標です。



2022.05.JMS

はかる。みちびく。つたえる。
知恵を掛け合わせ、
その先に、未来にとどけていく。

- 高品質な放射線システム製品の構築・保守までワンストップ対応
- ネットワーク構築およびネットワークセキュリティ診断
- 各種センサー、デバイス情報のつなぎこみ (RFID、IoT)

ずっと先まで、とどくもの



株式会社 システック 井上

わかちあう 創薬の喜び

患者さんの顔がみえる新薬の開発。
その中でも治療が困難とされる疾患に
焦点を合わせた新薬の開発を目指して。



 **Symbio**

シンバイオ製薬株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
虎ノ門タワースオフィス7階

TEL 03-5472-1125 FAX 03-5472-3054 <https://www.symbiopharma.com>



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社



注射薬混注鑑査システム

アドディス

AddDis

ハードとソフト両面から安全で的確な注射薬調製業務をサポートし、調製作業と鑑査を1人で行えるため人的負担も軽減します。

注射薬混注鑑査業務において特に重要な課題



心理的負担を伴う
調製リスク

薬品の種類と量を確認しながら調製することで、インシデント防止、作業者の心理的負担の軽減が期待できます。



進行状況管理

進捗モニターで調製状況の表示・共有が可能。各処方での進行状況を一目で確認することができ、看護部・薬剤部間の問い合わせ件数の削減に寄与します。

AddDisはこれらの課題解決をシステムでサポートします。

※製品改良のため仕様・構成などを予告なく変更させていただく場合がございます。※掲載内容は2025年11月14日現在のものです。

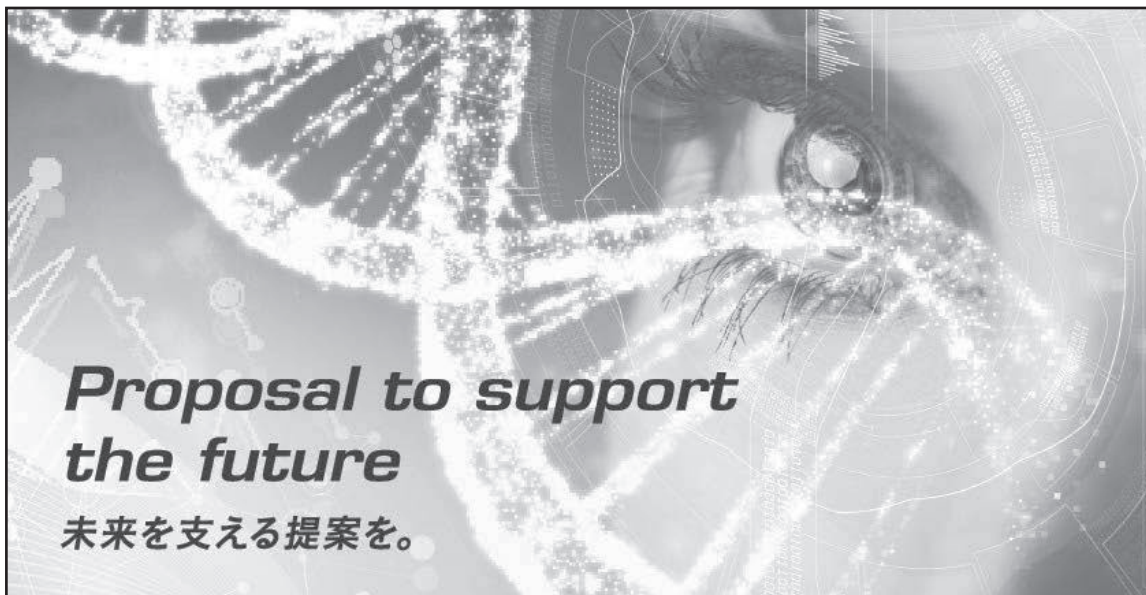
機器・システム構成から動線を考慮したレイアウトまで、トータルでご提案いたします。お気軽にお問い合わせください。

TOSHO
Your best pharmacy solution

株式会社トーショー
本社 〒144-0033 東京都大田区東糀谷3-8-8

■お問合せ先 9:00~17:00(平日)
TEL (03) 3745-1331(代)

トーショー公式サイト
<https://www.tosho.cc/>



想いを聞かせてください。
その閃きをカタチにします。その輝きを支え続けます。その先へと繋げていきます。
私たちが創業以来培った信頼と技術で、医療の未知なる世界を見据えたご提案をします。

エンジニアリング事業	
医療用高精細液晶モニター	医療用液晶モニター
電子制御生産設備	電子計測試験、評価
フィールドメンテナンス	システム導入サポート

メディカル事業	
放射線治療システム	医療用AI
X線診断装置	放射線治療計画システム
CT、MR診断装置	放射線治療装置の保守



日本電子応用株式会社

<http://www.ndc-oyo.co.jp> info-q@ndc-oyo.co.jp



販売代理店、販売特約店

株式会社バリアン メディカル システムズ/シーメンスヘルスケア株式会社/日本電気株式会社/株式会社フューチャーイン/WIDE社/FSN社



株式会社バリアン メディカル システムズ / TrueBeam 医療用リニアック 医療機器承認番号 223008ZX00265000、Halcyon 医療用リニアック 医療機器承認番号 225008ZX00367000、放射線治療計画ソフトウェア Eclipse 医療機器承認番号 225008ZX00265000





選択的SGLT2阻害剤－2型糖尿病・慢性心不全・慢性腎臓病治療剤－ 薬価基準収載

ジャディアンス®錠10mg

選択的SGLT2阻害剤－2型糖尿病治療剤－

ジャディアンス®錠25mg

処方箋医薬品（注意-医師等の処方箋により使用すること）

Jardiance®

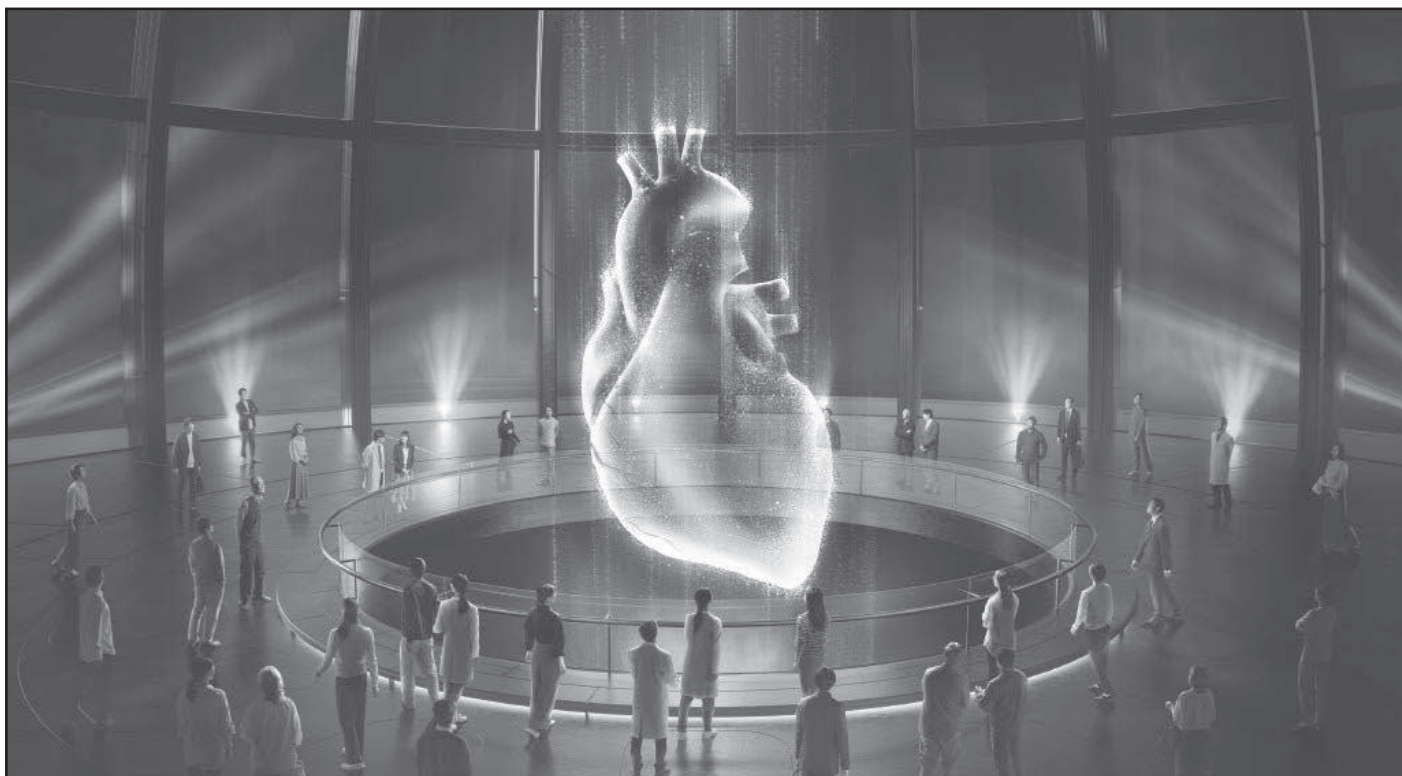
エンパグリフロジン製剤

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については
電子添文をご参照ください。



製造販売元
日本ベリンガー・インゲルハイム株式会社
東京都品川区大崎2丁目1番1号
資料請求先：DIセンター
0120-189-779

2025年9月作成



肥大型心筋症治療剤/選択的心筋ミオシン阻害剤 薬価基準収載



カムザイオス®カプセル 1mg 2.5mg 5mg

CAMZYOS®

一般名：マバカムテン （製薬 処方箋医薬品^{※1}）

注）注意-医師等の処方箋により使用すること

新発売

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等の詳細は、
電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元
 アリスト・マイヤーズ スクイブ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1
文芸請求先及び問い合わせ先 メディカル情報グループ TEL:0120-093-507
販売情報提供活動に関するご意見や苦情受付 ホームページURL: <https://www.bms.com/jp>
TOPページから「お問い合わせ」をご覧ください。

2025年5月作成
3500-JP-250012630

技術の力で、 次のフロンティアを 目指して。

ひとつの場所にとどまらない。

そんなDNAが、私たち九電工にはある。

電気工事からはじまり、配電工事、空調・衛生工事、
情報通信、エネルギー、街づくりと

さまざまな領域に事業を拡げてきた80年。

それは、立ち止まらないという意志だ。

前へ前へ、という意志だ。

「技術力で未来に挑戦し、新しい価値を創造する」

その言葉を信じて、もっと遠くへ行こう。

九州には愛がある。

それでもこれからは、日本中、世界中、
そして宇宙までもが私たちのフィールドだ。
そこに快適な環境を創り出そう。

一人ひとりが技術を革新し、技術で実行し、
まだ見ぬ景色をみんなで見に行こう。



九電工は、「クラフティア」へ。

KRAFTIA

北九州支店

〒802-0003

北九州市小倉北区米町2-2-1 新小倉ビル5階

Johnson&Johnson MedTech

HARMONIC® 1100



ECHELON CIRCULAR®
Powered Stapler

STRATAFIX®
Spiral PDS Plus®



STRATAFIX®
Spiral PDS Plus®
Bi-directional

SURGICEL SNoW®
Absorbable Hemostat



SURGICEL®
ABSORBABLE HEMOSTAT

DERMABOND
PRINEO®



ENDOPATH®
XCEL Trocar series



SURGIFLO®



HARMONIC
FOCUS®+



SURGICEL® Powder
Absorbable Hemostat



PDS PLUS®



ENSEAL®
X1 Curved Jaw Tissue Sealer



Powered
ECHELON FLEX® 3000



製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー
〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2 TEL.0120-160-834

JP_ETH_STAP_357792
©J&J&KK 2024

販売名：エンドパス スタイプラー Powered ECHELON FLEX 3000
販売名：GSTカートリッジ
販売名：エシロン サークュラー パワードスタイプラー
販売名：エンドパス トロッカーシステム
販売名：ハーモニック 1100 シアーズ
販売名：エンシール X1 ティッシュシーラー
販売名：ハーモニック FOCUS プラス

認証番号：304AABZX00060000
承認番号：22700BZX00155000
承認番号：30100BZX00156000
認証番号：21900BZX00882000
承認番号：30300BZX00138000
承認番号：30200BZX00391000
承認番号：22700BZX00411000

販売名：STRATAFIX Spiral PDS プラス
販売名：STRATAFIX Spiral PDS プラス Bidirectional
販売名：PDS プラス
販売名：ダーマボンド プリネオ
販売名：サージフロ
販売名：サージセル・パウダー・アブソーバブル・ヘモスタット
販売名：サージセル スノー・アブソーバブル・ヘモスタット
販売名：サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット MD

承認番号：22900BZX00123000
承認番号：30400BZX00016000
承認番号：22300BZX00333000
届出番号：13B1X00204ME0010
承認番号：23100BZX00112000
承認番号：30200BZX00082000
承認番号：30300BZX00042000
医療機器承認番号：30400BZX00112000